

(4) 協議会・幹事会並びに各部会の令和7年度活動報告
及び令和8年度活動計画について

兵庫県がん診療連携協議会・幹事会関連

項目	内容
令和7年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 7年 4月 17日(木) 第20回 兵庫県がん診療連携協議会 (Web開催) ○ 令和 7年 6月 19日(木) 第1回幹事会 (Web開催) ○ 令和 8年 2月 5日(木) 第2回幹事会 (Web開催) ○ 令和 7年11月 8日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第15回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場 所：神戸市教育会館 6階 大ホール (会場59名、Web 58名 計117名 参加) テーマ：「みんなで話そう、これからのこと ～アドバンスケアプランニング(人生会議)のすすめ～」 開催方法：現地会場とWebのハイブリット方式 担当病院：神戸市立医療センター中央市民病院
令和8年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 8年 4月 9日(木) 第21回 兵庫県がん診療連携協議会 (Web開催) ○ 令和 8年 6月 11日(木) 第1回 幹事会 (Web開催) ○ 第2回 幹事会は、日程、開催方式 未定 ○ 令和 8年 11月 7日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第16回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場 所：神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「地域のがん治療の実情(仮)」 開催方法：現地会場とWebのハイブリット方式 担当病院：公立豊岡病院

兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項目	内容
令和7年度の活動報告	<p>○がん看護コアナース育成セミナーの開催（兵庫県立がんセンター） テーマ：「多様化するがん患者の一人ひとりの力を信じ、その力を引き出し、高める意思決定支援」 日程：体験研修（希望者のみ）11月4日(火)～11月14日(金)のうち1日 講義・事例検討（各回単独の受講も可）11月21(金)、28日(金)、12月5日(金) 開催方式：体験研修は県立がんセンター、講義・事例検討はWeb開催 参加人数：24名</p> <p>○セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修・教育部会セミナー 令和7年10月11日(土) 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「膵がんの診断と治療の最前線」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 14名、Web 51名 計 65名 参加） ・放射線セミナー 令和7年10月25日(土) 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「乳がんの診断と治療 -update-」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 69名、Web 181名 計 250名 参加） ・検査セミナー 令和7年12月6日(土) 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「がん診療における心エコー図検査の役割 ～がんサバイバーのQOL向上のために～」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 34名、Web 70名 計 104名 参加） ・薬剤師セミナー 令和8年1月31日(土) 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：「がん治療関連心機能障害」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 36名、Web 252名、計288名 参加） <p>○がん診療連携拠点病院を対象とする 「第10回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 令和7年秋頃の開催を予定していたが、諸般の事情により延期した。</p> <p>○共催研究会・県民フォーラムなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第15回 ひょうご県民がんフォーラム 令和7年11月8日(土) テーマ：「みんなで話そう、これからのこと～アドバンスケアプランニング(人生会議)のすすめ～」 会場：神戸市教育会館 6階「大ホール」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 59名、Web 58名 計117名 参加） 担当施設：神戸市立医療センター中央市民病院(持回り開催)
令和8年度の活動計画及び今後の検討課題等	<p>○がん看護コアナース育成セミナーの開催（兵庫県立がんセンター） テーマ：「日常ケアに潜む倫理的問題をみんなで考えてみませんか？」 日程：11月から12月頃 体験研修（希望者のみ）1日＋講義・事例検討（各回単独の受講も可）3回 開催方式：体験研修は県立がんセンター、講義・事例検討はWeb開催 募集人数：30名</p> <p>○セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修・教育部会セミナー 令和8年10月17日(土) 神戸市教育会館6階「大ホール」 テーマ：「肺がん治療の最前線(仮)」 開催方式：現地会場とウエビナーによるハイブリット方式(予定) ・放射線セミナー 令和8年10月10日(土) 神戸市教育会館6階「大ホール」 テーマ：(緩和ケアについて) 開催方式：現地会場とウエビナーによるハイブリット方式(予定) ・検査セミナー 令和8年12月5日(土) 神戸市教育会館6階「大ホール」 テーマ：「ヘムサイト(造血器腫瘍遺伝子パネル)検査」 開催方式：現地会場とウエビナーによるハイブリット方式(予定) ・薬剤師セミナー 日程、テーマ等は未定 開催方式：現地会場とウエビナーによるハイブリット方式(予定) <p>○がん診療連携拠点病院を対象とする 「第10回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日程、テーマ、開催方式は未定</p> <p>○共催研究会・県民フォーラムなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16回 ひょうご県民がんフォーラム 令和8年11月7日(土) テーマ：「地域のがん治療の実情(仮)」 会場：神戸市教育会館 6階「大ホール」 現地会場とウエビナーによるハイブリット方式 担当施設：公立豊岡病院（持回り開催）

《令和7年度 P D C A サイクル 実施計画・管理表》

令和7年3月末 現在

部 会 名	P 実施計画			実施管理					
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価	A 改善		
					区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)	
研 修 ・ 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	1. がん医療・看護の均てん化に取り組んでいる今、最新のがん治療や専門的ながん看護、緩和ケアに関する研修を通し、更なるがん医療・看護の発展を目指す。そして、より専門的ながん医療・看護に関する知識やスキルを持った看護師を育成する必要がある。	○ がん診療連携拠点病院として、「がん看護コアコース育成セミナー」をオンラインで開催。加えて、体験研修の希望者を受け入れる。 がん治療は日々進出し、治療の選択肢が拡大している。一方で、がん患者は多様化し、個人のニーズに即した意思決定支援は難しく現場の看護師は日々困難さを感じている。よって、意思決定支援をテーマとし、より多くの看護師の育成につながる企画とする。 昨年度に引き続き、3日間のWEBでの講義とGWの構成を基本とし、希望者の体験研修をPRし、拡充を図る。受講できる日だけ単日で受講したいという声もあるため、単日での参加も可能とし、より多くの方が参加できる機会となるよう企画した。	令和7年11月～12月頃	○	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様にオンライン研修に加え、体験研修の受入れを行った。がん看護に携わる看護師24名（院外15名、院内9名）が参加し、体験研修の希望者は9名であった。体験研修では全員が希望部署で研修を実施することができた。参加者からは、実際のがんセンターでの看護を体験でき、非常に有意義であったと前向きな意見が聞かれた。 ・オンライン研修は勤務終了後でも参加できるよう、ZOOMを使用して行った。参加者は最後まで熱心に聴講されていた。 ・今年度はオンライン研修全3回のうち1回のみ参加も可能とし、24名の希望者があった。全ての研修に参加した15名に修了書を交付した。 ・参加者のがん看護の経験にはばつぎがあったが、第3回事例検討においては、各グループにファシリテーターを配置したことで、全員が発言し、活発なディスカッションが行えた。また、事前課題としていた事例を事前配布していたため、グループワークの事例紹介がスムーズに行えた。全体共有の時間を30分と昨年より長く設定したことで、各グループの具体策を全体で十分に共有することができた。 以上より、参加者のがん看護実践能力の向上に役立つ研修になったと評価する。	継続	今年度と同様に、希望者の見学実習(1日)と遠方や仕事終わりの参加のしやすさを考慮し、リモートによる3回構成の研修として開催する。 また、「日常ケアに潜む倫理的問題」を題材に、看護実践の中で感じる倫理的問題についてみんなで考える研修企画とする。
		2. 医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	○ がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・ 第10回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 テーマ：「(未定)」 秋頃開催予定 開催方法：未定 ○ セミナーの開催 開催方式：すべてハイブリッド方式の予定 (1) 研修・教育部会セミナー 令和7年10月11日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ：「膀胱がんの診断と治療の最前線」 (2) 放射線セミナー 令和7年10月25日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ：「乳がんの診断と治療 -update-」 (3) 検査セミナー 令和7年12月6日(土) 又は12月13日(土) で開催予定 会場、テーマ等は未定 (4) 薬剤師セミナー 令和8年1月31日(土) テーマ等は未定	令和8年3月	○	達成	医療従事者を対象としたセミナーや研修会を開催し、医療レベルの向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・第10回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 令和7年秋頃の開催を予定していたが、諸般の事情により延期した。 ○ セミナーの開催 開催方式：すべてハイブリッド方式 (1) 研修・教育部会セミナー 10月11日(土) 会場 14名、Web51名、計 65名 参加 テーマ：「膀胱がんの診断と治療の最前線」 (2) 放射線セミナー 10月25日(土) 会場69名、Web181名、計250名参加 テーマ：「乳がんの診断と治療 -update-」 (3) 検査セミナー 12月6日(土) 会場 34名、Web 70名、計 104名参加 テーマ：「がん診療における心エコー図検査の役割 ～がんサバイバーのQOL向上のために～」 (4) 薬剤師セミナー 1月31日(土) 会場36名、Web252名、計 288名 参加 テーマ：「がん治療関連心機能障害」	継続	がん診療連携拠点病院、準じる病院、その他の医療機関に対して、引き続き積極的な参加を呼びかける。 開催方式については、基本的にハイブリット(会場とWeb配信)開催を継続し、遠隔地からの参加を容易にしたい。 また、各アンケート結果等もふまえ、平日開催についても検討する。
		○ 県民フォーラムなどの開催 第15回 ひょうご県民がんフォーラム 令和7年11月8日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ、開催方法は「未定」 担当施設：神戸市立医療センター中央市民病院	令和7年11月	○	達成	県民へのがん治療への理解を深めるため、11月8日に開催した。 テーマ：「みんなで話そう、これからのこと ～アドバンスケアプランニング(人生会議)のすすめ～」 会場 59名、Web 58名、計 117名が参加 担当施設：神戸市立医療センター中央市民病院	継続		
		○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会、セミナーの共催及び後援名義の使用承認 http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載	令和8年3月	○	達成	地域で開催されるセミナーや研究会などの共催及び後援などを行った 共催 4件、後援 4件	継続		

《令和 8年度 P D C A サイクル 実施計画・管理表》

令和 8年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容 (計画)
研 修 ・ 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	1. がん医療・看護の均てん化に取り組んでいる今、最新のがん治療や専門的ながん看護、緩和ケアに関する研修を通し、更なるがん医療・看護の発展を目指す。そして、より専門的ながん医療・看護に関する知識やスキルを持った看護師を育成する必要がある。	○ がん診療連携拠点病院として、「がん看護アナース育成セミナー」をオンラインで開催する。加えて、体験研修の希望者を受け入れる。 がん看護の現場においてしばしば直面する倫理的問題は、多くの価値観が絡み合うため複雑である。そのため、多くの看護師が難しさを感じているという現状がある。よって、「倫理」をテーマとし、がん看護に携わる看護師の育成につながる企画とする。 昨年度に引き続き、3日間のWEBでの講義とGWの構成を基本とし、希望者の体験研修をPRし、拡充を図る。受講できる日だけ単日で受講したいという声もあるため、単日での参加も可能とし、より多くの方が参加できる機会となるような企画とする。 テーマ：日常ケアに潜む倫理的問題をみんなで考えてみませんか？ 開催日程：11月から12月頃 開催方式：体験研修（希望者）1日＋オンライン研修×3回	令和8年 11月～ 12月頃					
		2. 医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	○ がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 第10回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 日程、テーマ、開催方式は未定 ○ セミナーの開催 開催方式：すべてハイブリッド方式（予定） (1) 研修・教育部会セミナー 令和8年10月17日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ：「肺がん治療の最前線（仮）」 (2) 放射線セミナー 令和8年10月10日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ：（緩和ケアについて） (3) 検査セミナー 令和8年12月5日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 予定 テーマ：「ヘムサイト（造血器腫瘍遺伝子パネル）検査」 (4) 薬剤師セミナー 日程、場所、テーマは未定	令和9年 3月					
		○ 県民フォーラムなどの開催 第16回 ひょうご県民がんフォーラム 令和8年11月7日(土) 神戸市教育会館「大ホール」 テーマ：「地域のがん治療の実情（仮）」 開催方式：ハイブリッド方式 担当施設：公立豊岡病院	令和8年 11月						
		○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会、セミナーの共催及び後援名義の使用承認 http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載	令和9年 3月						

(注) 実施管理・区分欄の記入について
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

令和7年度 兵庫県がん診療連携協議会 研修・教育部会セミナーアンケート結果

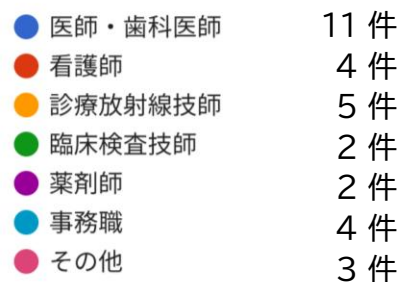
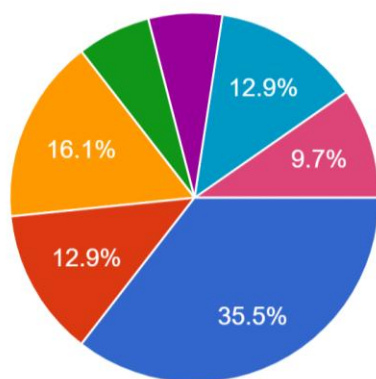
テーマ: 膵がんの診断と治療の最前線

2025.10.11 開催

	実参加者	申込数	参加率	回答数	回収率	備考
会場参加	7	11	64%	6	86%	
Web参加	51	90	57%	24	47%	
関係者	7	-	-	-	-	
合計	65	101	57%	30	52%	

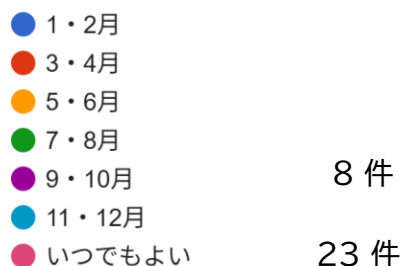
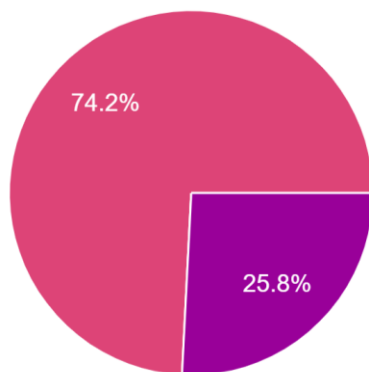
1. 職種についておたずねします。

31件の回答



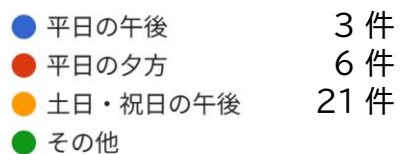
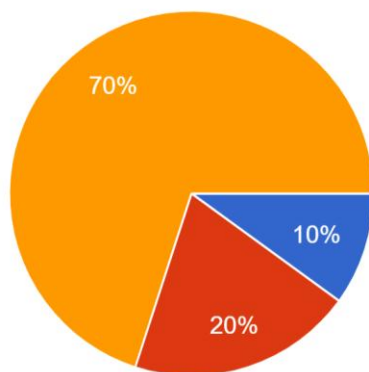
2. 開催時期の希望についておたずねします

31件の回答

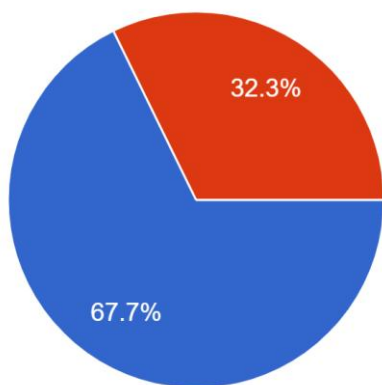


3. 開催時間の希望についておたずねします

30件の回答

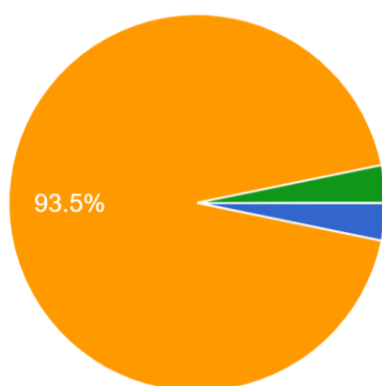


4-1-1 オープニングリマークス「膵癌の診断と治療」：講演内容についておたずねします
31件の回答



- とてもよくわかった 21件
- わかった 10件
- 少しわからなかった
- わからなかった

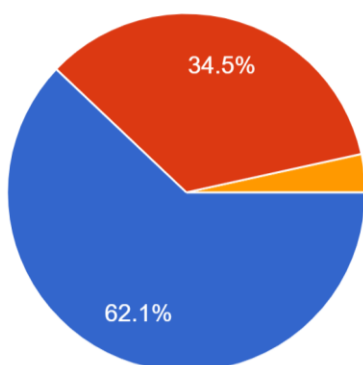
4-1-2 オープニングリマークス「膵癌の診断と治療」：時間についておたずねします
31件の回答



- 長かった 1件
- 少し長かった 29件
- 適当であった 1件
- 少し短かった 1件
- 短かった

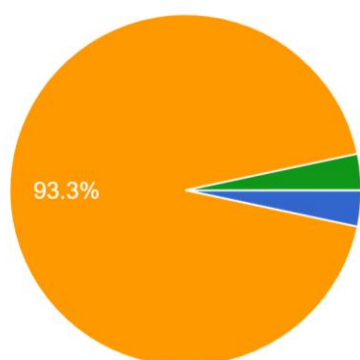
4-2-1 特別講演 1

「膵癌診療の最前線と内科的治療の進歩」：講演内容についておたずねします
29件の回答



- とてもよくわかった 18件
- わかった 10件
- 少しわからなかった 1件
- わからなかった

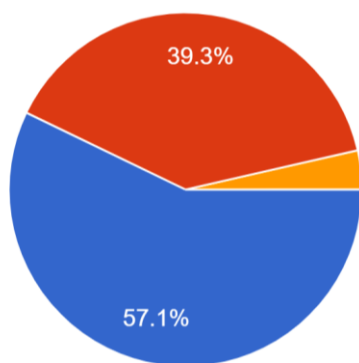
4-2-2 特別講演 1 「膵癌診療の最前線と内科的治療の進歩」：時間についておたずねします
30件の回答



- 長かった 1件
- 少し長かった 28件
- 適当であった 1件
- 少し短かった 1件
- 短かった

4-3-1 特別講演2

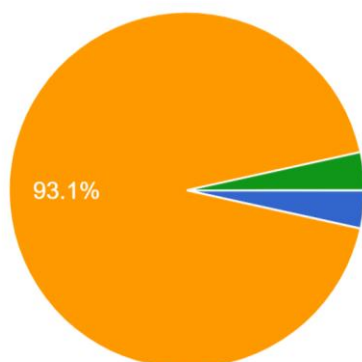
「根治をねらう！膵がんの外科治療」～ロボット...ン手術まで～：講演内容についておたずねします
28件の回答



とてもよくわかった	16件
わかった	11件
少しわからなかった	1件
わからなかった	1件

4-3-2 特別講演2

「根治をねらう！膵がんの外科治療」～ロボット...ジョン手術まで～：時間についておたずねします
29件の回答



長かった	1件
少し長かった	1件
適当であった	27件
少し短かった	1件
短かった	1件

5. 今後のセミナーについてご希望はありますか？：テーマ、内容、講師名等

- 婦人科系のがんについて
- 手術の実際の上手な進め方など
- 食道癌について
- 化学療法の有害事象について
- 卵巣癌について
- 光免疫治療について

6. その他ご意見、お気づきの点がありましたら、ご自由にご記入ください

- 大変わかりやすく解説していただき、勉強になりました。ありがとうございました。
- とても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- とても参考になりました。
- 開業医が最新のがん治療を勉強できる良い機会なので継続してください。ありがとうございました。
- とても勉強になりました。

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項目	内容
令和7年度の活動報告	<p>1 活動報告</p> <p>1) 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会を年2回開催する</p> <p>第27回 令和7年9月27日(土) 12:30～16:15 対面開催 63名参加 【内容】「高齢がん患者の意思決定にどうかかわるか ～相談員としてできる情報支援の在り方～」</p> <p>第28回 令和8年2月28日(土) 9:30～16:40 対面開催 (午前の部) 9:30～10:50 52名参加 【内容】 令和7年度 PDCAサイクルの評価</p> <p>(午後の部) 12:30～16:40 71名参加 【内容】 ピアサポーターとの交流会&ピアサポーターフォローアップ研修</p> <p>2) 事務局会議の開催 Web開催 (隔月第2金曜日 14:30～15:30 1、2、3月は14:30～16:00) 令和7年5月9日、7月11日、9月12日、11月14日、 令和8年1月9日、2月13日、3月13日</p>
令和8年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>1 活動計画(案)</p> <p>1) 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会を2回程度開催する</p> <p>【日程】 令和8年9月26日(土) 【内容】 相談員研修(認定がん専門相談員単位認定研修) (AYA世代がん患者の支援ニーズに気づき相談員としてできることを考える)</p> <p>【日程】 令和9年3月 【内容】 質評価</p> <p>2) 事務局会議 開催日時 奇数月(5・7・9・11・1・3月)、2月 第2金曜日 14:30～15:30 1月～3月は検討事項が多く、16:00まで 開催方法 WEB会議システム(Zoom)</p> <p>3) 相談員研修関連 相談員研修の企画・開催、指導者の育成(案内、参加調整、研修参加等) 指導者研修への参加</p> <p>4) がん患者サロン関連 ピアサポーター養成研修への協力 ひょうごがん患者連絡会との連携強化</p>

《 令和7年度 PDCAサイクル実施計画・管理表 》

令和7年3月末 最終評価

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
情 報 ・ 連 携 部 会	①相談員研修G								
	がん相談対応の質の向上のために、定期的な知識・技術の更新に努める	・兵庫県における相談支援機能強化に向け、問題の解決や質向上のための研修を開催する必要がある ・その研修を企画・実施・評価ができる指導者育成が必要である	○2025年兵庫県がん相談員研修（Ⅲ群認定研修）を企画し実施する ○2025年国立がん研究センター主催「指導者研修」に参加し研修企画に必要な知識を学び立案する ○2026年以降も継続的に「指導者研修」に参加できるよう「指導者研修参加調整の取り決め」を実行していく ○その他	令和8年3月	○	達成	○2025年9月27日（土）がん相談員研修を実施したテーマ「高齢がん患者の意思決定にどうかかわるか～相談員としてできる情報支援の在り方～」参加者60名 ○2025年6月19-20日・10月2-3日の4日間、「指導者研修」に3施設3名受講。県内の課題から2026年度がん相談員研修の企画を立案した ○指導者研修の参加者の調整の取り決めを実行し、相談支援機能強化に向けてマニュアルを修正した ○2026年12月6日（土）姫路赤十字病院主催・兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会共催による「遺伝性腫瘍に関するがん相談員セミナー」を開催した。参加者122名	継続	○2026年度兵庫県相談員研修を開催する（9月予定） ○2026年度国立がん研究センター主催「指導者研修」に参加し研修企画に必要な知識を学び立案する ○2027年度以降も継続的に「指導者研修」に参加できるよう案内周知について「指導者研修参加調整の取り決め」を再考する
	行政と協働し、ピアサポート活動の質向上に向けた支援に取り組む	人材の育成と質保証を継続して行う必要があり、体制整備が必要である	○兵庫県がんピアサポーターに関する研修会を、兵庫県疾病対策課と連携し実施する (ピアサポーター養成研修、フォローアップ研修・交流会)	令和8年3月	○	概ね達成	県主催のもと、ピアサポーター養成研修は、10/4・5に加古川中央市民病院で受講者20名、相談員から講師4名、ファシリテーター13名が参加し開催できた。 ピアサポーターフォローアップ研修＆交流会を2/28姫路医療センターで開催予定である。参加者は受講者17名、相談員実務者42名であった。 昨年度の課題を踏まえ、受講者であるピアサポーターが主体性を持って参加できるよう、プログラムの時間配分、相談員の参加方法を変更し開催した。	完了	サロンG（仮称）と改め、養成研修は県から正式な依頼を受け、部会全体から講師、ファシリテーターの派遣を調整し、研修に協力していく。 またフォローアップ研修会＆交流会は今年度で終了とし、次年度から兵庫県がん患者連絡会との協働のあり方を検討し、交流・支援を深めていけるよう取り組む。
③質評価G									
	相談支援体制の機能強化や情報の共有を図る	県内の相談支援の現状を把握して対策に活かす必要がある	○相談員の資格と研修修了状況を把握する 時期：2025年11月～2026年3月（予定） 方法：各施設の情報を収集し、集計後に3月部会で報告する ○相談支援情報の一元化のとりまとめを行う 時期：2025年9月～2026年1月（予定） 方法：各施設の情報を収集し、とりまとめ後に協議会HPへ公開する ○PDCA関連 (1)PDCA実施状況チェックリスト 時期：2025年11月～2026年3月（予定） 方法：各施設のチェックリストを集計を行い、部会で共有後、協議会ホームページへ公開する (2)各病院のPDCAシート 方法：各病院は2025年度の計画を立案し、2026年3月の部会で評価を共有する (3)情報・連携部会のPDCA評価表 方法：立案、中間評価、最終評価のタイミングで事務局会議にて共有する ○部会活動報告書及び次年度の計画書を作成し協議会へ報告 時期：2026年2月幹事会、4月協議会、6月幹事会へ、それぞれ必要資料を提出する ○3月部会の開催 第28回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会 日 時：2026年3月（予定） 場 所、テーマは未定 開催方法：参集にて開催 担当施設：質評価G	令和8年3月	○	達成	○相談員の資格と研修修了状況を把握 ○相談支援情報の一元化更新のとりまとめ 3月情報・連携部会（午前の部）でとりまとめた結果を報告。相談支援情報の一元化更新については、協議会ホームページで情報更新を行った。 ○PDCA関連 (1) PDCA実施状況チェックリスト 2025年9月にとりまとめを行い、3月情報・連携部会（午前の部）にて報告。協議会ホームページで情報更新。 (2) 各病院のPDCAシート 2024年4月に計画立案を周知、9月に中間評価のアナウンスを実施。最終評価を3月情報・連携部会（午前の部）にて共有。 (3) 情報・連携部会のPDCA評価表 立案、中間評価について情報・連携部会メンバーリストで配信を行い、部会員へ共有した。最終評価についても共有予定。 ○部会活動報告書及び次年度の計画書を作成し協議会へ報告 2025年6月幹事会、2026年2月幹事会へ資料提出。4月協議会へも資料提出予定。 ○3月部会の開催 2026年2月28日 情報・連携部会（午前の部）「2025年度PDCAサイクルの評価」 参加者 52名 各施設の取り組み、成果について共有。質評価Gの業務結果報告、次年度の小集団活動目標と計画について発表。ピア育成推進G企画運営の部会と同日開催となるため、両Gで開催準備について協働した。	継続	相談支援情報の一元化の更新を継続して行い、がん相談支援センターの周知に努める。 PDCA実施状況チェックリストの集計を行い、がん相談支援センターの現状の把握と分析。各病院のPDCAサイクルの評価を取りまとめ、3月部会で、各施設の成果の共有と、今後の具体的な取り組みへと繋げる。

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和8年度 PDCAサイクル実施計画・管理表 》

令和8年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名 (各グループ目的)	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
情 報 ・ 連 携 部 会	①相談員研修G								
	がん相談対応の質の向上のために、定期的な知識・技術の更新に努める	・兵庫県における相談支援機能強化に向け、問題の解決や質向上のための研修を開催する必要がある ・相談員研修を企画・実施・評価ができる指導者育成が必要である	○2026年度兵庫県相談員研修を企画・開催する ○2026年度国立がん研究センター主催「指導者研修」に参加し研修企画に必要な知識を学び、研修計画を立案する ○2027年度以降も継続的に「指導者研修」に参加できるよう案内周知について「指導者研修参加調整の取り決め」を再考する	令和9年3月					
	②サロンG								
	ピアサポート活動の質向上に向けた支援に取り組む	人材の育成と質向上を継続して行う必要があり、体制整備が必要である	○県からの情報・連携部会への正式な派遣依頼のもと、ピアサポーター養成研修に参加する講師やファシリテーターの調整を行う ○がん患者連絡会 「がん患者なんでも話そう会」と協働し、交流・支援を深める 1)「がん患者なんでも話そう会」前後のピアサポーターとの打ち合わせに参加する 2)会場確保の調整を行う 3)「がん患者なんでも話そう会」当日はオブザーバーとして参加し、病院サロンとの連携について検討する	令和9年3月					
	③質評価G								
	相談支援体制の機能強化や情報の共有化を図る	県内の相談支援の現状を把握して対策に活かす必要がある	○相談員の資格と研修修了状況を把握する 時期：2026年11月～2027年3月（予定） 方法：各施設の情報を収集し、集計後に3月部会で報告する ○相談支援情報の一元化のとりまとめを行う 時期：2026年9月～2027年1月（予定） 方法：各施設の情報を収集し、とりまとめ後に協議会HPへ公開する ○PDCA関連 (1)PDCA実施状況チェックリスト 時期：2026年11月～2027年3月（予定） 方法：各施設のチェックリストを集計を行い、部会で共有後、協議会HPへ公開する (2)各病院のPDCAシート 方法：各病院は2026年度の計画を立案し、2027年3月の部会で評価を共有する (3)情報・連携部会のPDCA評価表 方法：立案、中間評価、最終評価のタイミングで事務局会議で共有する ○部会活動報告書及び次年度の計画書を作成し協議会へ報告 時期：2027年2月幹事会、4月協議会、6月幹事会へ、それぞれ必要資料を提出する ○3月部会の開催 第30回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会 日 時：2027年3月（予定） 場 所、テーマは未定 開催方法：参集にて開催 担当施設：質評価G	令和9年3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。



©キリイラストレーション

ピア・サポートに対する 支援体制の変更および 県への患者連絡会との協同要望

兵庫県がん診療連携協議会
情報・連携部会

2026年4月



要旨

■兵庫県がん対策推進基本計画の内容により以下を懸念

- ①兵庫県の相談支援に対する事業が安定していない
- ②病院側に大きな負担がかかりやすい構図
- ③相談支援・ピアサポートのコントロールタワー機能が欠如

■県への要望

- ①相談支援について県の役割を定め、補助金活用事業の検討を
- ②国の指定要件を、国と別に独自に未充足と通達することの中止措置

■国の指針を満たすため、患者会との協同でより効果的な次年度施策を策定



兵庫県対策推進基本計画

兵庫県計画

兵庫県がん対策推進基本計画（推進方策全文）

推進方策

ア がん相談支援センターの利用の促進

拠点病院等は、患者及びその家族が、外来初診時から治療開始時までを目処に、必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制を整備するよう努めるとともに、主治医等の医療従事者が、早期に患者や家族へがん相談支援センターを説明するなど、がん相談支援センターの利用を促進する。

イ 相談支援の質の向上

兵庫県がん診療連携協議会におけるがん相談支援センターの運営に関する情報交換、相談事例等の共有、事例検討や、地域の医療・保健・介護・福祉機関等との連携強化などを通じて相談機能の充実を図る。また、PDCAサイクルの運用により、相談支援の質の担保を図る。

また、拠点病院等のがん相談支援センター等は、がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設ける。その際には、一定の研修を受けたピアサポーター*の活用や、患者団体等と連携した相談を実施するよう努める。

また、近年、医療の現場においてデジタル技術の活用やオンライン化の推進が進められていることから、拠点病院等は、患者とその家族が利用可能なインターネット環境や、冊子や視聴覚教材等をオンラインでも確認できる環境を整備するよう努める。

国整備指針

国のがん拠点病院指定要件

- ④ がん相談支援センターについて周知するため、以下の体制を整備すること。

ア 外来初診時から治療開始時までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問（必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む）することができる体制を整備することが望ましい（*）。

⑧ がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けること。その際には、一定の研修を受けたピア・サポーターを活用する、もしくは十分な経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めること。なお、オンライン環境でも開催できることが望ましい。

方策の大部分は国整備指針と同一



兵庫県対策推進基本計画

相談支援分野は県の具体的行動計画がない

病院の指定要件だけが指定

県計画（事業・予算）がなく、課題解決は病院への負担を求めるロジックになりがち



地域統括相談支援センターについて

患者・家族らのがんに関する相談について、心理、医療や生活・介護など様々な分野に関する相談をワンストップで提供する体制を支援するもの。

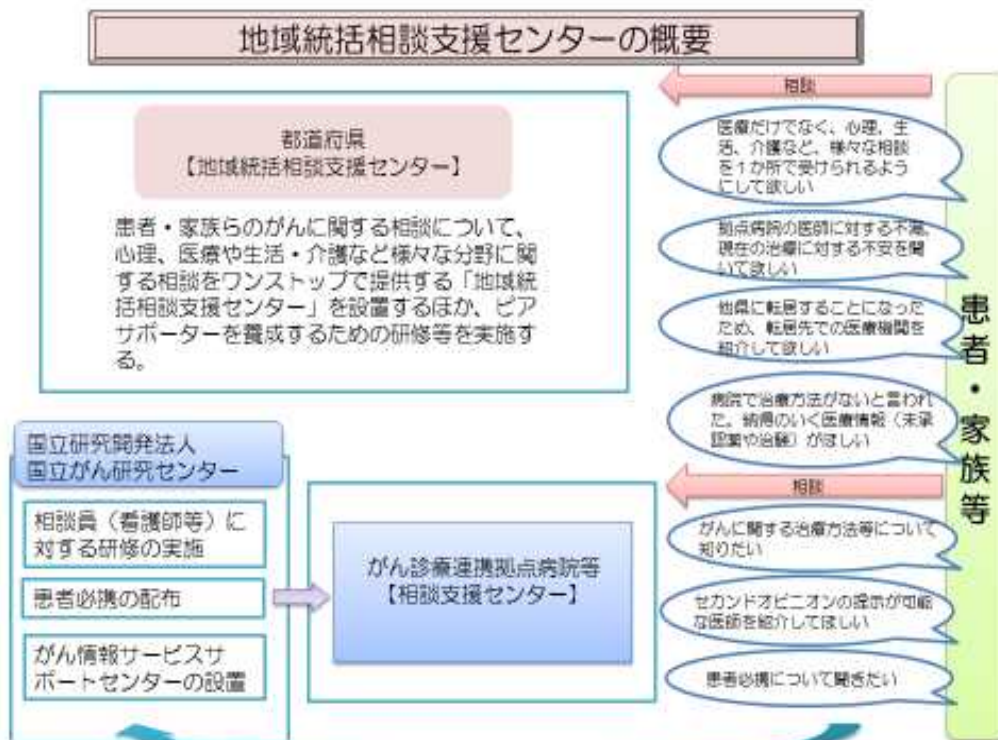
31年度予算案：92百万円（30年度予算額：90百万円）

※都道府県健康対策推進事業の内数

【補助先】都道府県 【補助率】1/2

【事業内容】ピアサポーターなど様々な分野に関する相談に対応するための相談員の確保及びその研修、相談内容の分析、がん患者サロンの整備等

地域統括相談支援センターの概要



地域統括相談支援センター（京都）



※14府県で同様の施設設置

病院に相談しにくい医療従事者への不満やセカンドオピニオンの希望、不安など、心の問題や経済的・生活の問題対応が不十分な状況であるため、拠点病院とは別に総合相談窓口を開設(25年度～)。
(がん対策課長がセンター長。通常相談＋出張相談(保健所)を実施。就労について、ハローワークとも連携)

石川県がん安心生活サポートハウス



※市民サポーター養成講座

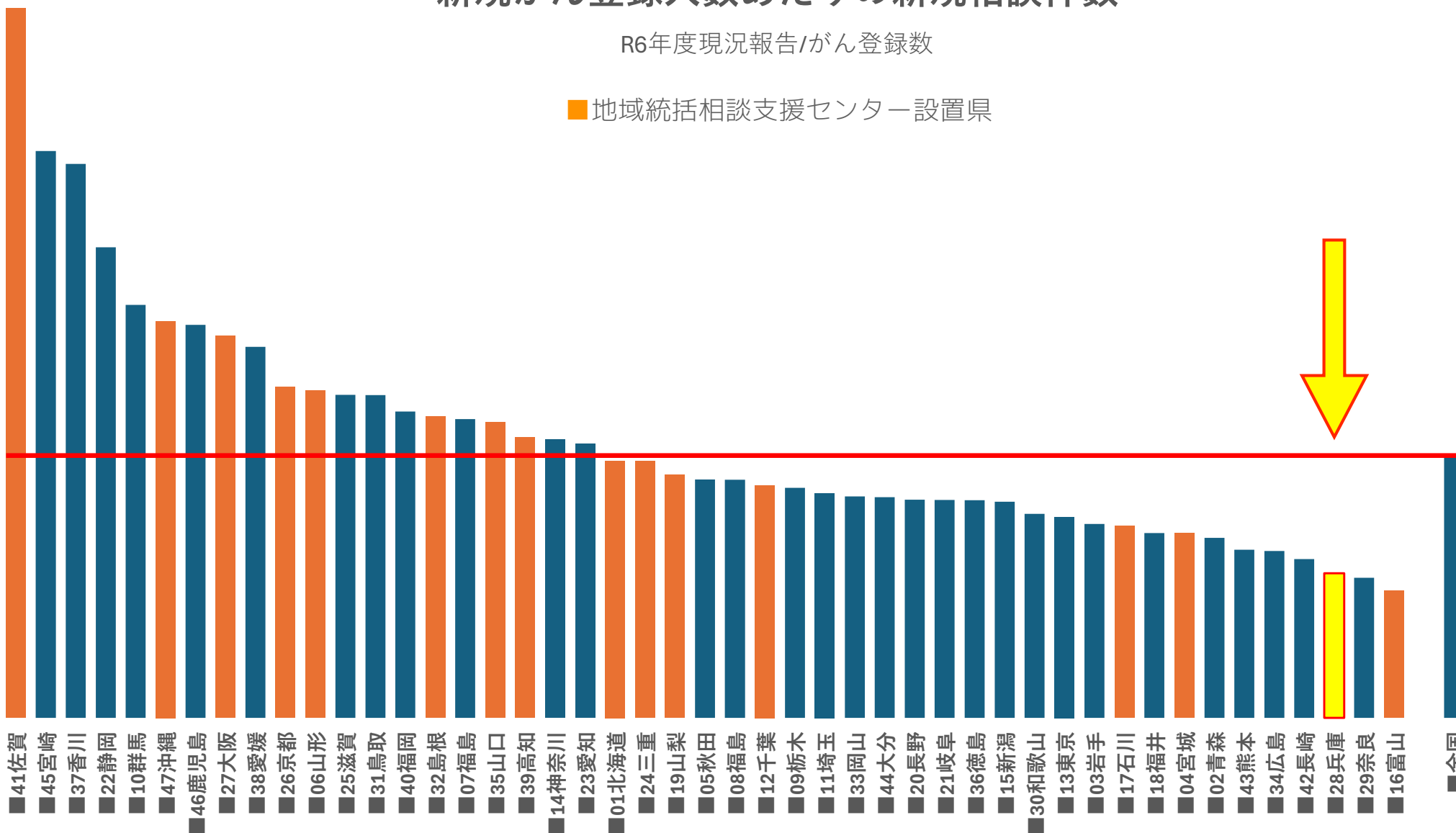
患者さん・ご家族の立場に立った生活重視の相談支援体制が出来るように、病院とは離れた環境で、がん体験者やご家族の交流、体験者の知恵を生かした相談ができる場として、平成25年6月に開所。
看護師やがん体験者にその相談を実施している。
ピア・サポーターの養成研修も行っている。



新規がん登録人数あたりの新規相談件数

R6年度現況報告/がん登録数

■ 地域統括相談支援センター設置県





ピアサポーターへの補助

ピア・サポーターに対する金銭的な補助

ピア・サポーターの金銭面のサポートについて、報償は12都道府県、旅費は19都道府県で、都道府県・委託する団体、がん診療連携拠点病院等から支払われていた。ボランティア保険は17都道府県が加入していた。

(21)	報償	旅費	ボランティア保険
支払い・加入があると回答した都道府県	12	19	17
支払元の内訳(複数回答可)			
都道府県	3	5	8
委託する病院や団体等	4	6	5
地域統括相談支援センター	2	4	4
がん診療連携拠点病院等(※)	4	4	1
患者団体等	0	0	0

(※) 一部の拠点病院で支払われている・加入している自治体を含みます。



県への要望①

国補助金事業の**統括相談支援センター**等で、相談支援の充実、ピアサポート教育・派遣事業（費用負担含む）の先行事例が多数

患者会からも、特に阪神・姫路地区以外のピアサポート支援の交通費等の負担が過重との意見

兵庫県がん対策推進基本計画で相談支援にかかわる県の方策を定め、引き続き事業化の検討を要望



県からの調査（12 / 3）

【調査の目的】

現況報告の内容や各拠点病院の状況等から、県内のがん拠点病院の課題として、相談支援が不十分（特にがん患者の家族への相談支援が極めて不十分）ということが明らかになりました。相談支援については、…（略）

…指定要件（補助金）に関わる調査になりますので、必ず病院の運営に関わる幹部職員等まで確認いただきご回答をお願いいたします。

11. 貴院では国指針の改定を見据えて、次年度以降も家族のピアサポーターを含め活用した相談支援を実施しますか *

- 国指針：「がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けること。その際には、一定の研修を受けたピア・サポーターを活用する、もしくは十分な経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めること。」※努めるが外れ必須要件になると言われている。
- 国指針(用語の解説)：【10 ピア・サポート】患者・経験者やその家族がピア（仲間）として体験を共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること。

サポーターの属性に関わらず活用する (指定要件充足)

家族のサポーターは活用しない (指定要件未充足)

患者のサポーターは活用しない (指定要件未充足)

12. 貴院では兵庫県が開催する「がんピアサポーター養成研修」において、次年度以降、家族のピアサポーターの養成を希望しますか *

はい

いいえ



国の見解

整備指針において求められているのは、一定の研修を受けたピア・サポーターの活用であること

当該ピア・サポーターが患者出身であるか、家族出身であるかという属性については、指針上、要件として定められていないこと

患者出身のピア・サポーターのみの活用であっても、指針の要件は充足すると解されること



県への要望②

国の指定要件の誤解釈に基づく通知であればまだしも、「国の指定要件は充足していることはわかっていたが、あえて未充足として通知」は深刻な恣意的運用の恐れ

再三の指摘後も長期にわたり是正措置がなく^(3/16現在)、拠点病院の要件に関するあらゆる県の文書の信頼性問題になりかねないことを留意していただきたい



R8情報連携部会方針案

協議や規約が継続的に内部伝達が難しい現状の県との協業は、文書ベースで一貫性が保たように変更

養成講座は、県民に必要な施策のため、正式依頼（書面での派遣依頼）に基づき協力

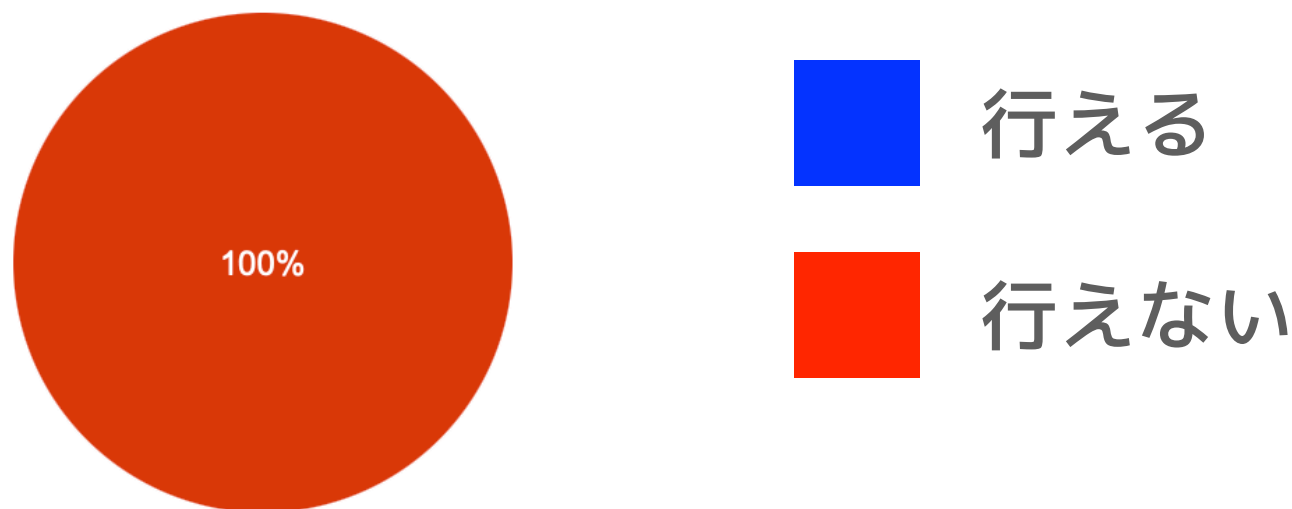
県も病院も行えないフォローアップ研修は終了、患者連絡会との協働に発展的昇華



 グラフをコピー

Q11-1兵庫県が開催する「がんピアサポーター養成研修」および情報連携部会の「ピアサポーターフォローアップ研修」への実務者のご尽力を頂いていますが、「フォローアップ研修」を行うための実務者の負担が増大が情報・連携部会で議論となっております。

フォローアップ研修を実施するための体制拡充を





患者なんでも語ろう会

がん患者連絡会主催の患者のピアサポートの場
+ピアサポーターの経験向上の場

情報・連携部会がオブザーバー参加、ピアサポーター
との交流およびアドバイス、患者会との交流も

会場提供を情報・連携部会 / 運営は患者連絡会で分担

令和8年度に協業を試験実施



指定要件との整合性

がん拠点病院指定要件

2診療体制（1）診療機能④地域連携の推進体制

ク 都道府県や地域の患者会等と連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポート（注10）の質の向上に対する支援等に取り組むこと。

フォローアップ研修会やピアサポート質向上

→病院の主導ではなく、地域連携推進の一環で患者会等の要請に対しての支援が要件

語ろう会の協業は指定要件に合致し、より患者会やピアサポーターとの連携が深まることが期待される

がん患者同士でお話しませんか？

第8回 がん患者 なんでも話そう会

私たちは、兵庫県内で活動するがん患者会及び支援団体です。

このたび、がん患者と家族等が気軽に集まれる「おはなし会」を開催します。

がんを宣告され、不安でいっぱいの人。

様々な情報に翻弄され、未来が真っ暗になった人。

がん患者同士で話し合い、心のうちを言葉に出して、話してみませんか？

似たような体験、悩みの人ときっと出会えると思います。

解決の明るい道が、見えてくるはず。一緒に語りあってみましょう！！



2026年 **6** 月 **7** 日 (日)

13:50～16:00 (13:30 受付開始)

神戸市 中央区文化センター

1001+1002会議室

JR三宮駅 南 徒歩10分 市役所うら側

神戸市中央区東町115番地 10階

参加費無料

事前申し込み不要



★ プログラム

- ・5人～7人程度のグループで、ピアサポーターを交えて自由に話し合ってください。
- ・前半と後半、グループを替えて、お話をします。

★ ピアサポーター募集【締切2026年5月25日(月)】

当日、ピアサポーターとして参加いただける方は、事前に右記 二次元コードより申込をお願いします。
※開催後に振り返りを行います (16:20終了予定)
ご不明な点があれば、下記までご連絡ください。

h.renrakukai.jimukyoku@gmail.com



主催：ひょうごがん患者連絡会
<https://hyogo-gankanja.jimdofree.com>

後援：兵庫県、神戸市



兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項目	内容
令和7年度の活動報告	<p>○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 開催日：7月11日(Web開催) 議 事：都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会報告 院内がん登録実務者ミーティング研修計画などについて 全国がん登録の状況 等 参加者：44施設 56名参加</p> <p>○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 ・ 第1回院内がん登録実務者ミーティング 開催日：11月28日(ハイブリッド開催) テーマ：兵庫県がん診療連携協議会HP公表案について ※「別表1」参照 (集計結果は「兵庫県がん診療連携協議会」HPにがん登録情報として掲載) 全国がん登録還元情報の取扱いについて 担当病院：西脇市立西脇病院 参加者：37施設(会場44名、Web14名 計58名参加)</p> <p>・ 第2回院内がん登録実務者ミーティング 開催日：2月3日(Web開催) テーマ：小腸、虫垂、肛門管及び肛門周囲皮膚の解剖とUICC TNM病期分類及び演習解説 講師：国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 江森 佳子 氏 担当病院：兵庫医科大学病院 参加者：112施設266名参加予定</p> <p>○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 開催日：6月18日・12月10日・2月27日(予定) 国立がん研究センター(Web開催) 報告事項：院内がん登録関連今後の予定(研修・認定制度・ルール変更・20条提供体制整備) 全国がん登録関連マニュアル改訂・届出のWEBフォーム化 等</p> <p>* 全国がん登録実務者研修会の開催 開催日：10月1日～12月26日(動画配信) テーマ：全国がん登録の届出実務 講師：国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター長 松田 智大 氏 視聴回数：312回</p>
令和8年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 6月開催予定</p> <p>○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 年2回開催予定(院内がん登録数集計報告等(10月)、講義形式(2月)を予定)</p> <p>○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 開催時期未定</p> <p>* 全国がん登録に関する研修会の開催 開催時期、内容未定</p>

《令和7年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和8年3月末日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を 収集・分析する 体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 現在、県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合や院内がん登録数及び胃、肺、大腸、乳、前立腺がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねていく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	令和8年3月	○	達成	がん診療連携協議会のホームページに、がん登録部会の施設別2023年院内がん登録数と大腸・肺・胃がん、乳、前立腺の施設別治療法集計データを掲載した。 (この集計は、令和8年2月に開催された兵庫県がん診療連携協議会幹事会で公表を承認されたものである。)	継続	来年度もがん登録部会・実務者ミーティングで検討しながら2024年診断症例の情報収集に努め、兵庫県のがん診療や県民に役立つ情報提供を行っていく。
	がん登録実務の 精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。 また、令和5年3月に通知された院内がん登録の二次利用におけるオプトアウトについて、施設ごとに対応していく必要がある。	年2回(11月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。(全国がん登録セミナーなど研修にも参加) また、院内がん登録の二次利用におけるオプトアウトに関し、患者に対する周知や追加事項のシステム対応などについて、引き続きがん登録部会等を通じて情報共有を図る。	令和8年3月	○	達成	院内がん登録実務者ミーティングを2回(11/28、2/3)開催した。 ・第1回目:37施設58名(集合研修44名 Zoom14名)参加 ・第2回目WEB研修:112施設266名参加 また、がん登録部会において、国の全国がん登録関連の動きを伝達するとともに、全国がん登録実務者研修として動画配信(10/1~12/26:視聴回数312回)を実施した。	継続	年2回のがん登録実務者ミーティングやがん登録部会にて、院内がん登録二次利用やルール(2025年版多重癌・TNM9版)や全国がん登録(届出や被保険者番号の収集などのシステム改修などの研修開催・情報共有等)により、がん登録に係る実務者の知識および精度向上を図る。
	全国がん登録情報の 予後情報還元申請	申請に必要なセキュリティ対策等の整備進んでいないなどにより、情報還元申請が少ない。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元申請ができるよう、相談・支援を行うとともに、がん登録部会等で情報共有を図ることで、情報還元が受けられる病院の増加を図る。		令和8年3月	○	達成	第1回院内がん登録実務者ミーティングにおいて、グループワークで自施設内でのがん登録の活用について検討した。活用には、院内がん登録マニュアルを遵守し自施設の運用規程などの作成・体制整備の必要性を情報共有した。	継続

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《令和8年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和8年4月1日 現在

部 会 名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を 収集・分析する 体制整備	拠点病院の指定要件として、 院内がん登録のデータを活用し、 登録数や各治療法についてのがん種別 件数をホームページ等で情報公開する よう努めることとされている。 現在、県がん診療連携協議会のホーム ページにおいて加盟病院別の件数・割合 や院内がん登録数及び胃、肺、大腸、乳、 前立腺がんの治療法件数・割合を掲載し ているが、より患者のニーズに対応した 掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、 情報の取り扱いに配慮しながら、県がん 診療連携協議会がん登録部会及びその下 部組織であるがん登録実務者ミーティ ング等で検討を重ねている。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得 られたデータ等を協議会ホームページに 掲載する。 兵庫県の施設別がん登録情報(登録数・ 割合や胃、肺、大腸、乳、前立腺がんの 治療法件数・割合)を収集し、他院比 較や自施設経年データと大きく解離した 数値は確認し見直すことで精度向上に 繋げていく。	令和9年3月					
	がん登録実務の 精度向上	令和7年12月にがん登録推進法の改正 が決議され、医療DXの推進(がん登録 データベース連結・解析、仮名化情報の 利用)が可能となり、届出や被保険者番 号の収集システム改修やがん登録ルール 改修(2025年版多重癌・TNM9版)など がん登録に係る実務者の知識や技術のレ ベルアップが求められており、情報提供 や研修などで精度向上を図る必要がある。	6月部会や年2回(10月、2月)のがん 登録実務者ミーティングを開催(うち1 回は講義形式)し、届出や被保険者番号 の収集システム改修の情報提供や施設間 の情報共有を行う。また、がん登録ル ール改修(2025年版多重癌・TNM9版) など実務者が知識や技術のレベルアップ できるように支援する。 各施設毎に国立がん研究センターが 開催する初級者認定試験や初級者・中 級者研修や更新試験、データ集計・分 析研修に積極的に参加し技能を磨く。 また、院内がん登録の二次利用におけ るシステム改修など、施設独自のシス テム対応についても、引き続きがん登 録部会や実務者ミーティングで情報交 換しながらレベルアップしていく。	令和9年3月					
	全国がん登録情報の 予後情報還元申請	申請に必要なセキュリティ対策等の 整備が進んでいない等により、情報還 元申請が少ない。組織体制やセキュリ ティ対策など実務者だけでは解決でき ないため申請が困難となっている。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元 申請ができるよう、相談・支援を行う とともに、がん登録部会等で情報共有 を図ることで、情報還元が受けられ る病院の増加を図る。	令和9年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

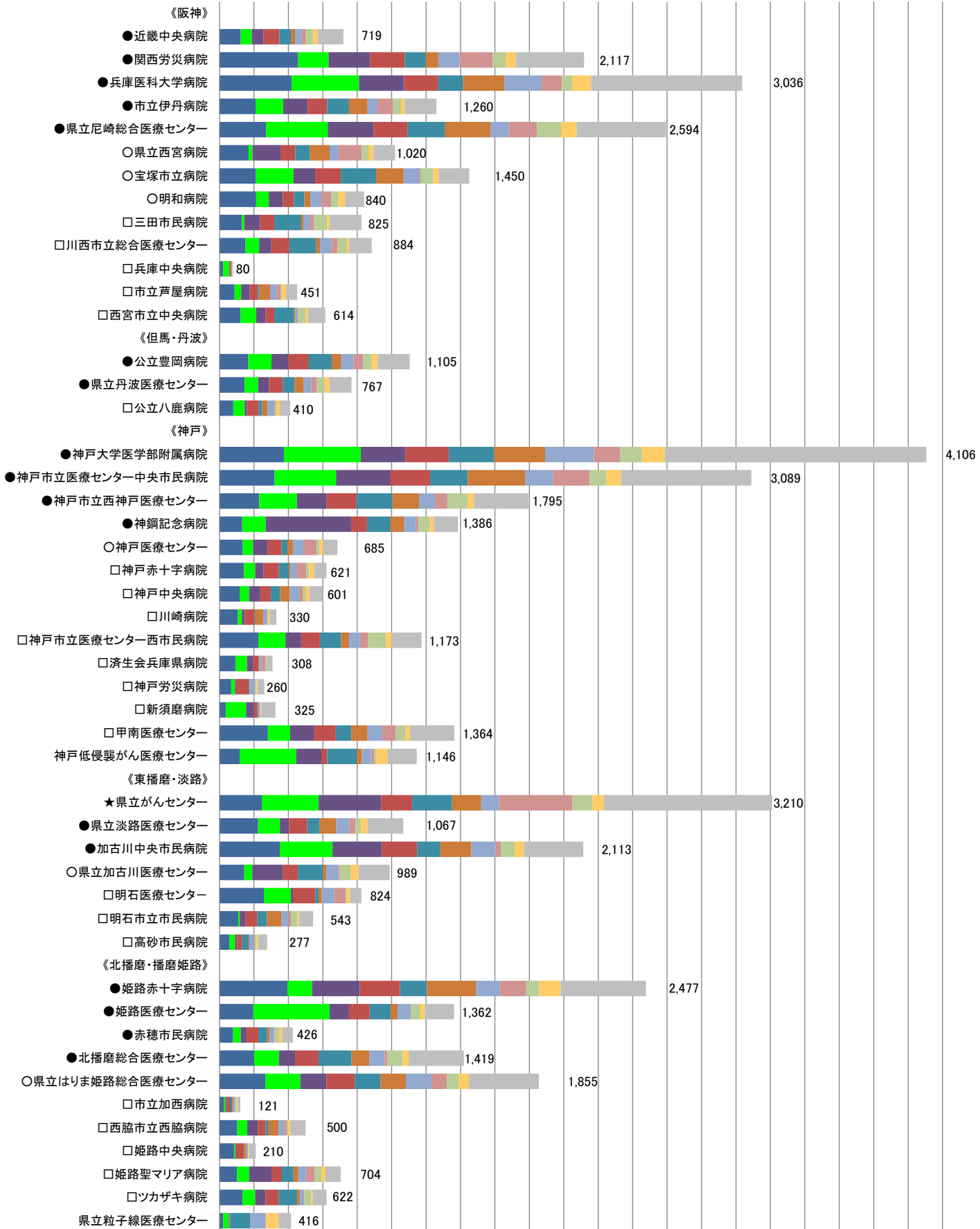
C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会協議会 院内がん登録情報 2023年症例 施設別 部位別がん登録件数

別表1

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

■大腸 ■肺 ■乳房 ■胃 ■前立腺 ■血液がん ■膵・胆道 ■子宮 ■膀胱 ■肝臓 ■その他



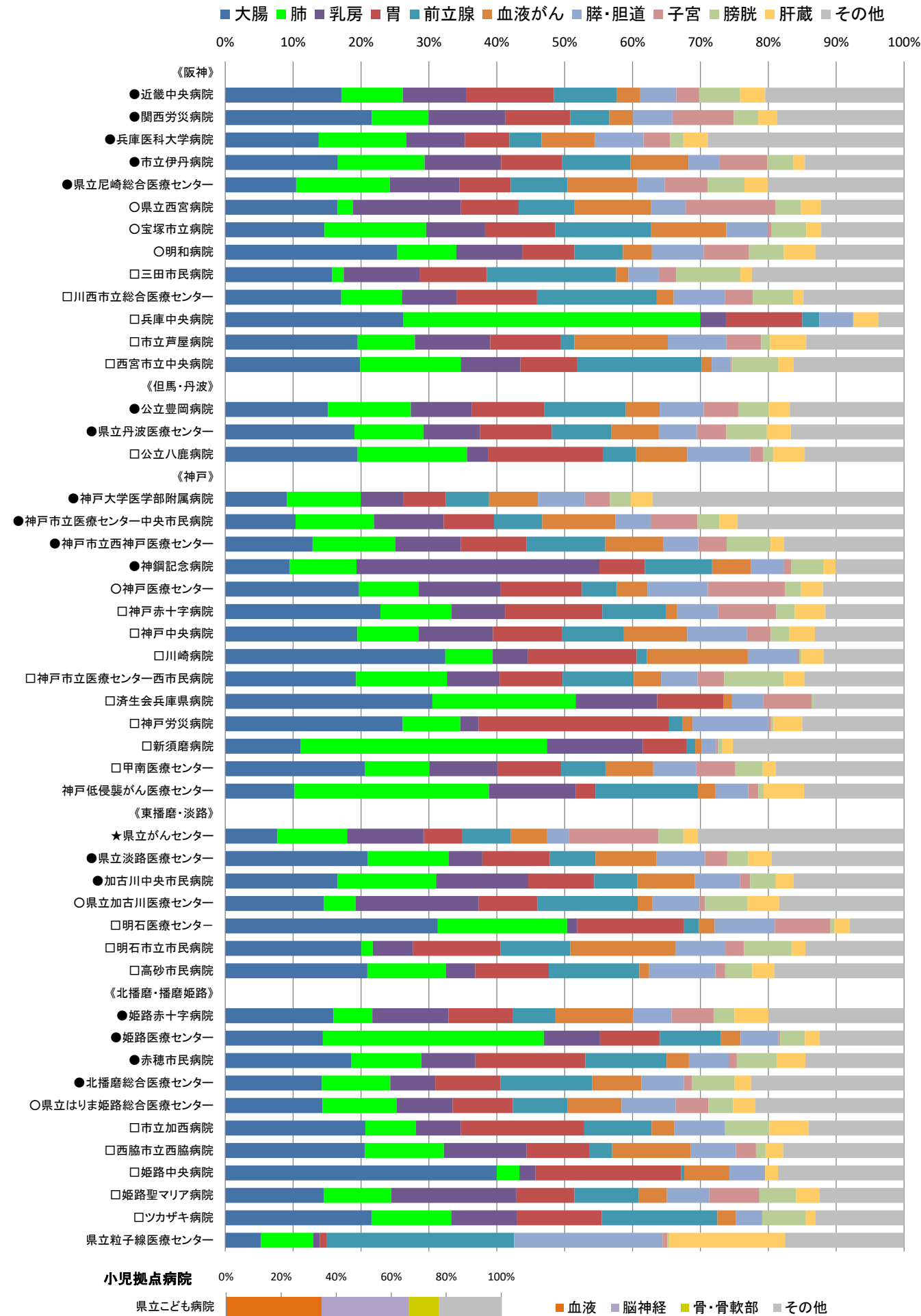
小児拠点病院



兵庫県がん診療連携協議会協議会 院内がん登録情報 2023年症例 施設別 部位別がん登録割合

別表1

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

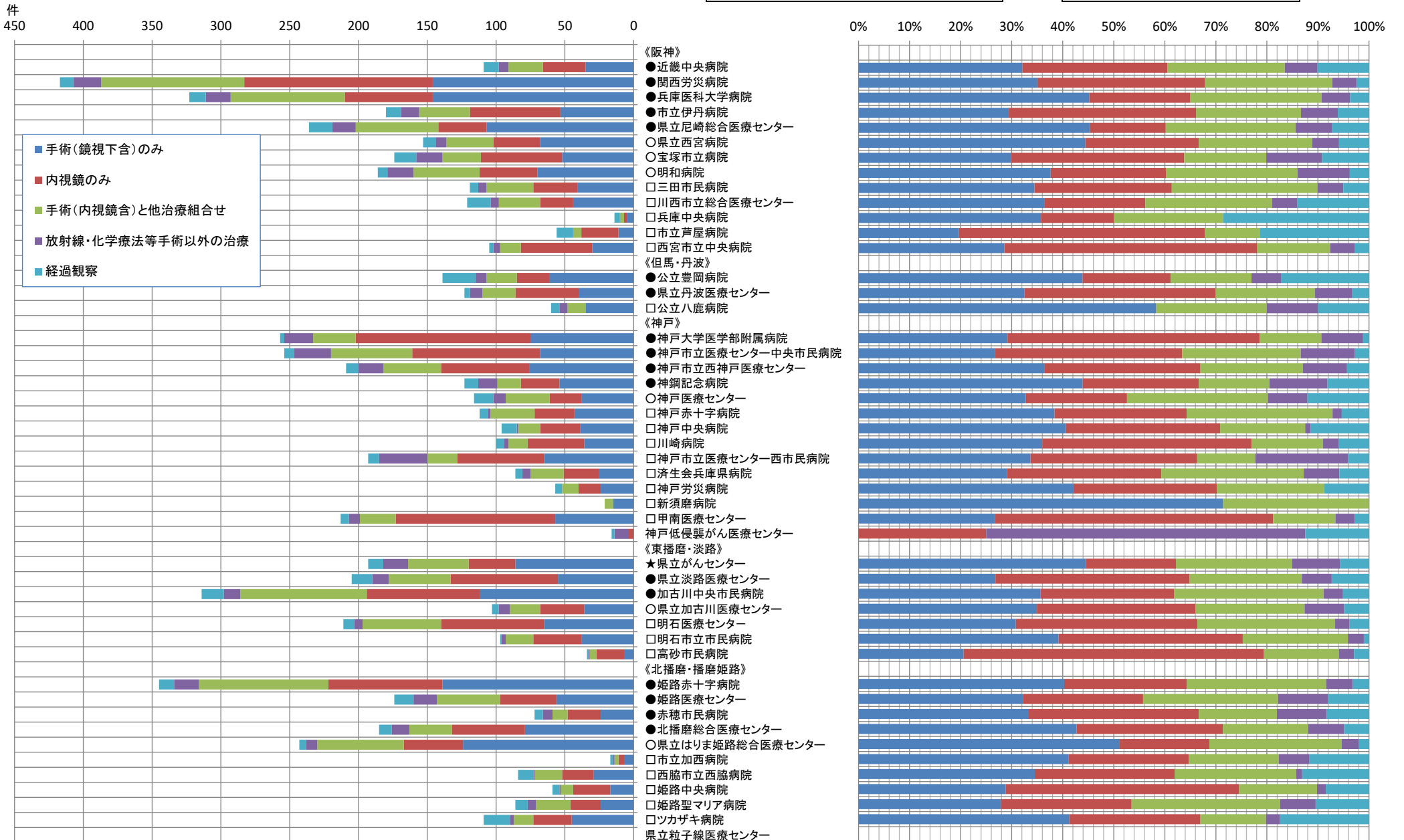


2023年症例 大腸癌 施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計= 6,899 件
 手術(鏡視下含)のみ= 2,502 件
 内視鏡のみ= 2,038 件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 1,500 件
 放射線・化学療法等手術以外の治療= 450 件
 経過観察= 409 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表1

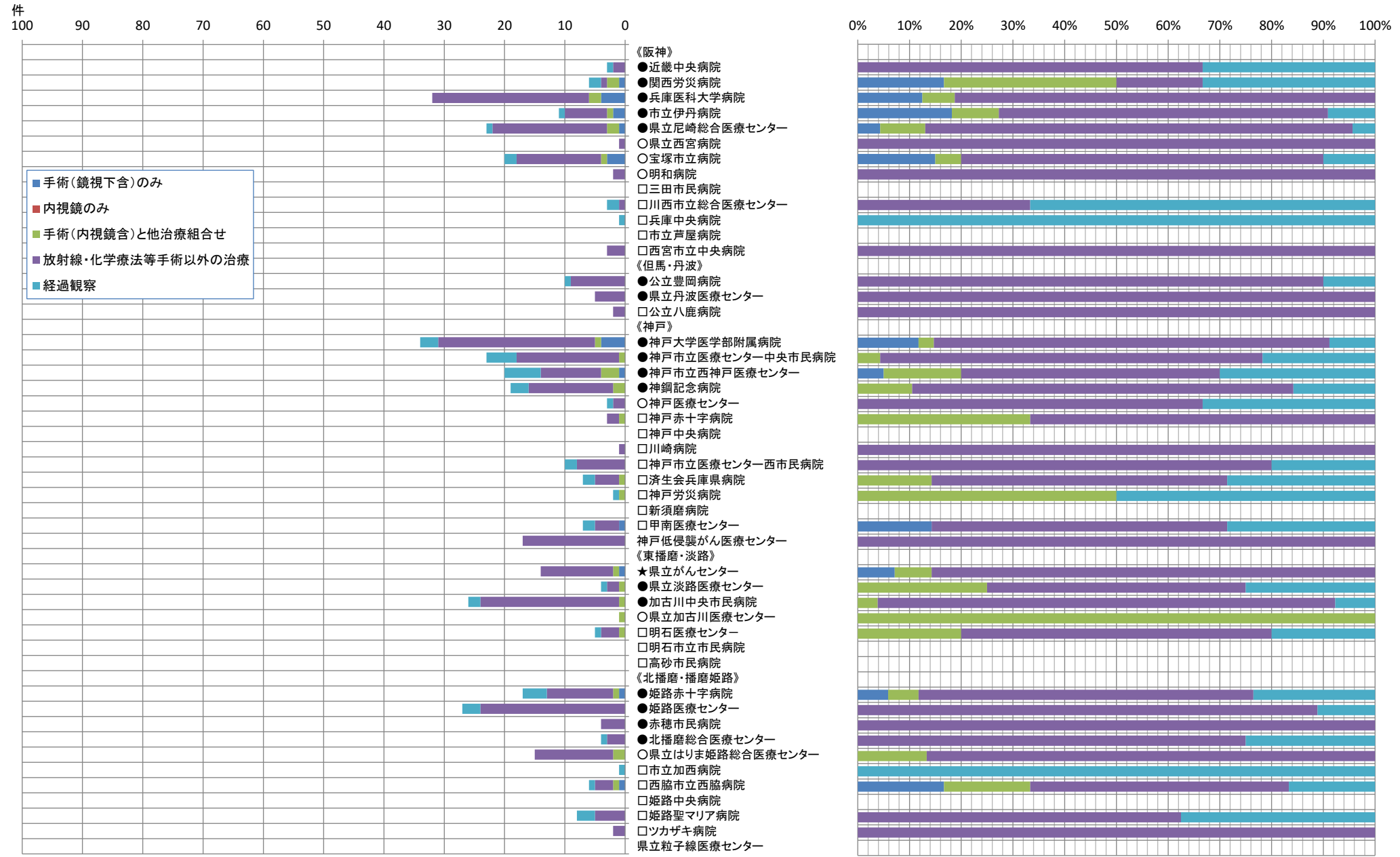


2023年症例 小細胞肺癌 施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計= 402 件
 手術(鏡視下含)のみ= 20 件
 内視鏡のみ= 0 件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 27 件
 放射線・化学療法等手術以外の治療= 302 件
 経過観察= 53 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表1

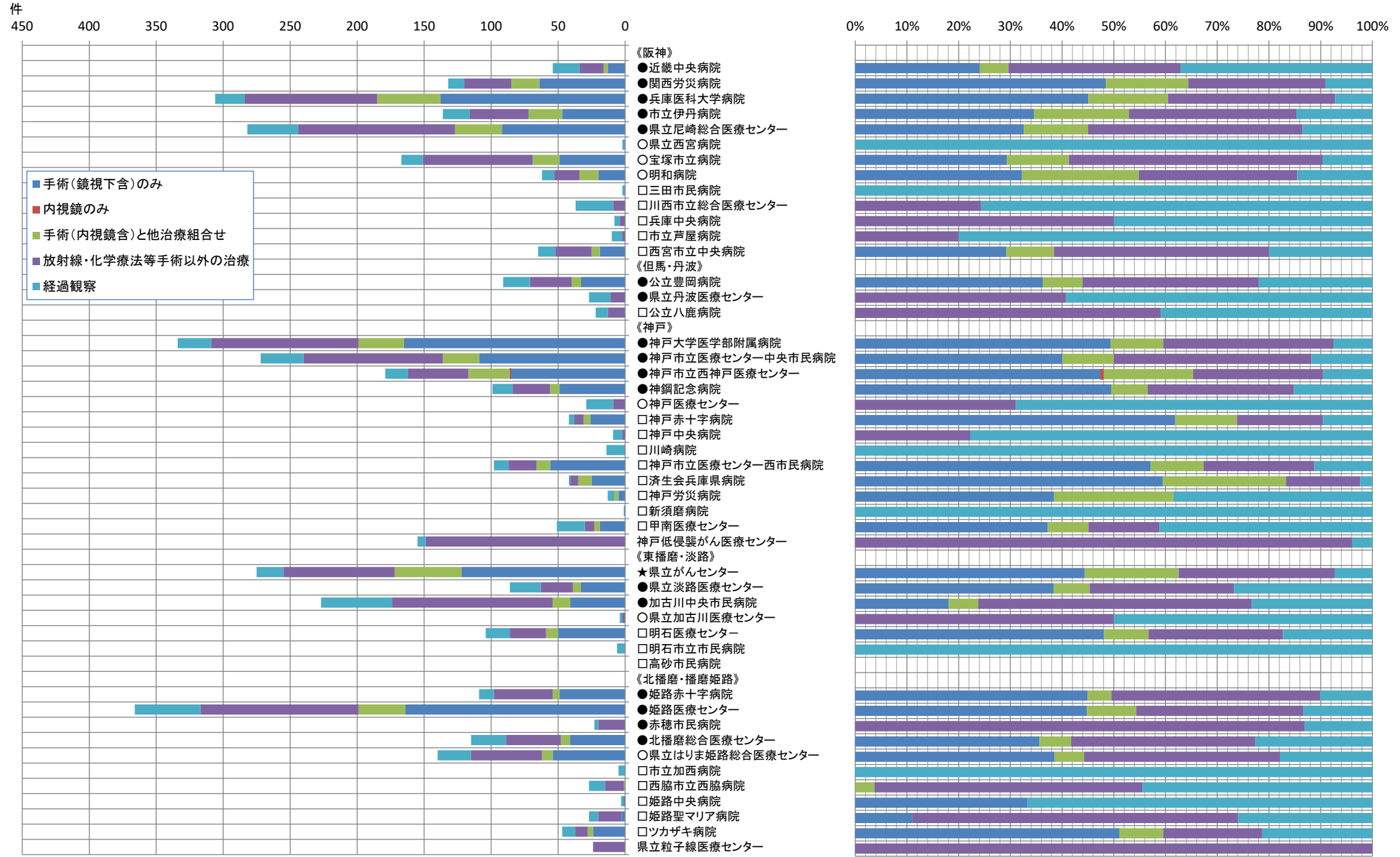


2023年症例 非小細胞肺癌 施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計= 4,329 件
 手術(鏡視下含)のみ= 1,596 件
 内視鏡のみ= 1-3 件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 447 件
 放射線・化学療法等手術以外の治療= 1,595 件
 経過観察= 690 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表1

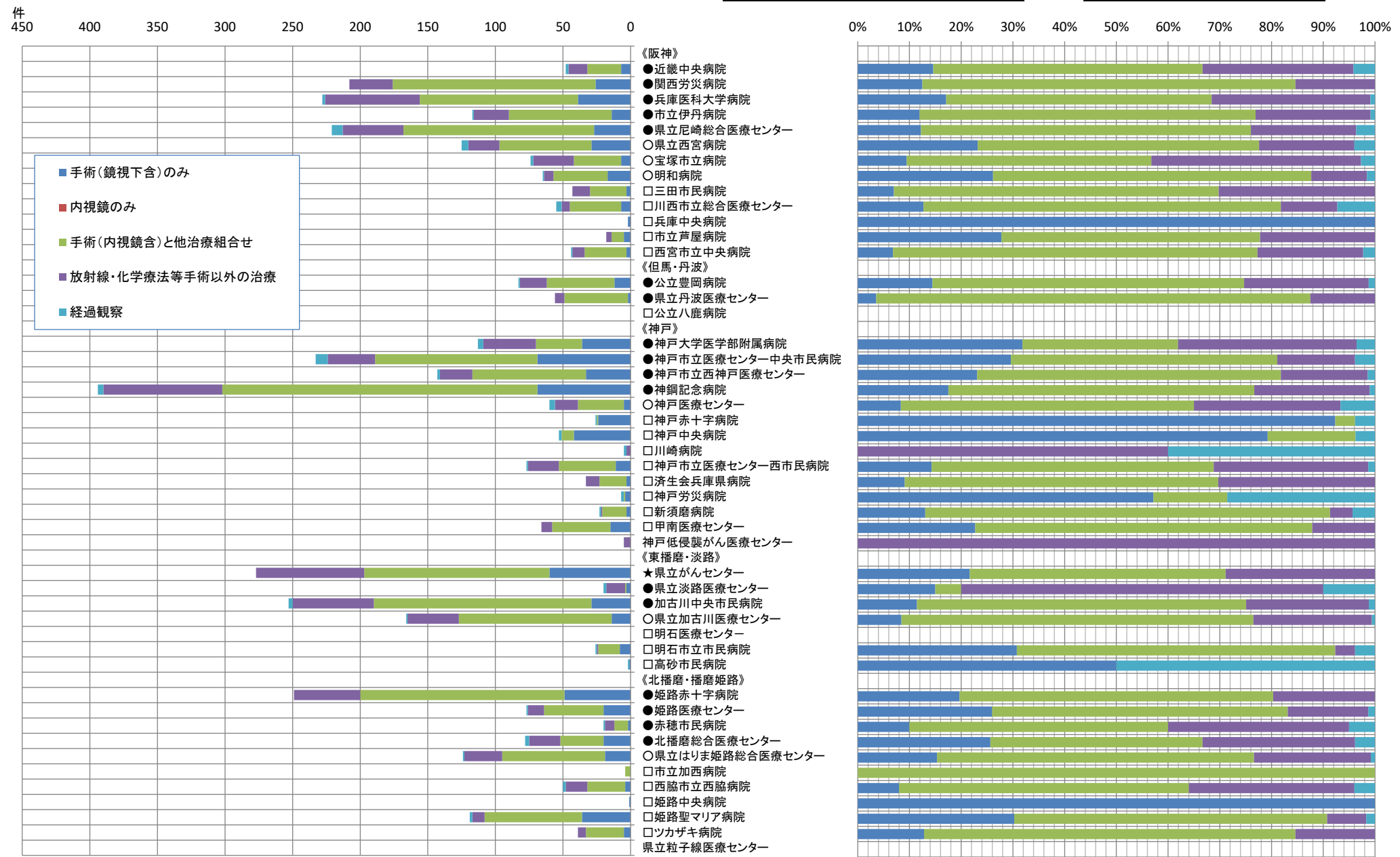


2023年症例 乳癌 施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計= 4,130 件
 手術(鏡視下含)のみ= 785 件
 内視鏡のみ= 0 件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 2,366 件
 放射線・化学療法等手術以外の治療= 902 件
 経過観察= 77 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表1



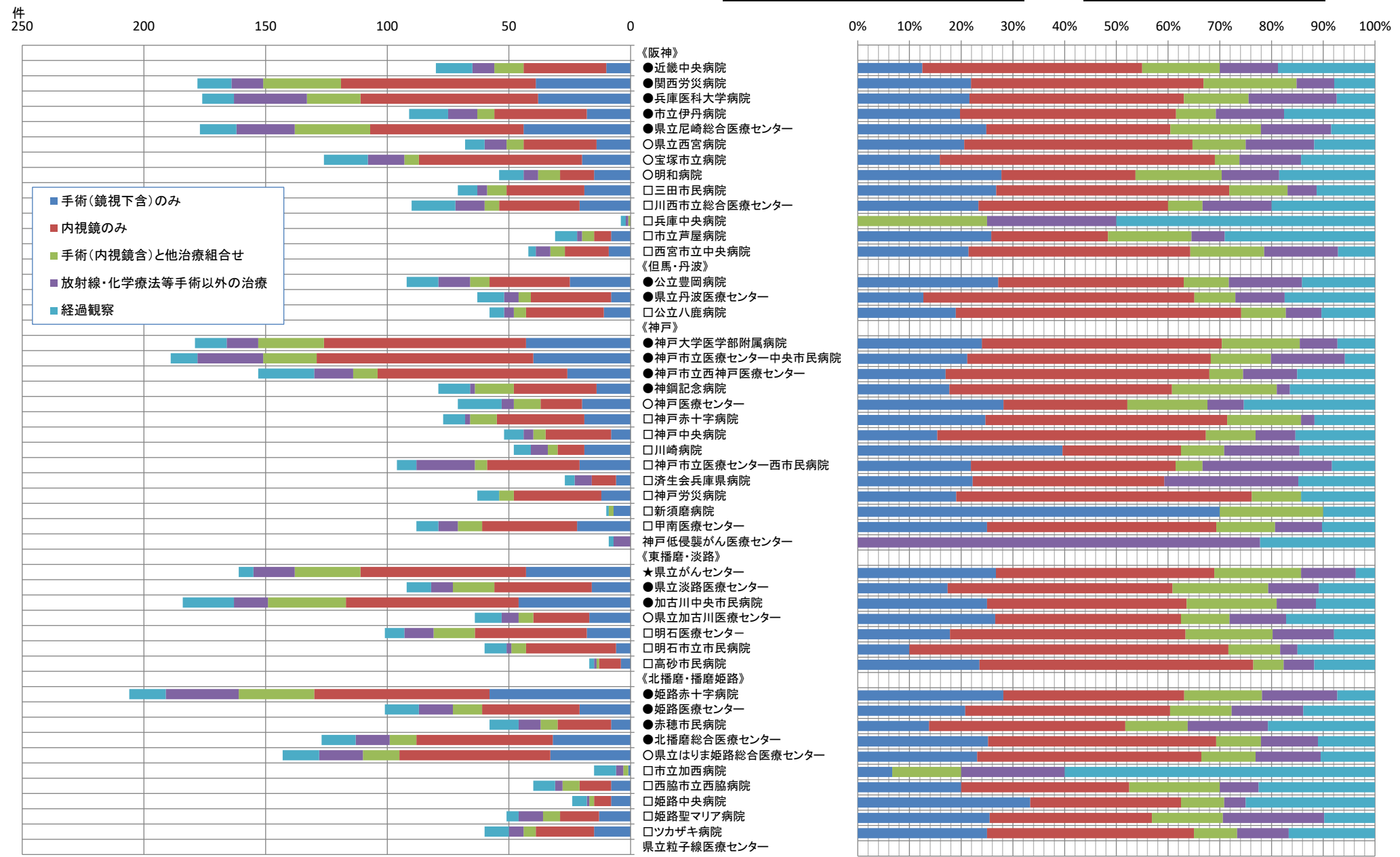
2023年症例 胃癌

施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計= 4,046 件
 手術(鏡視下含)のみ= 903 件
 内視鏡のみ= 1,691 件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 504 件
 放射線・化学療法等手術以外の治療= 458 件
 経過観察= 490 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表1

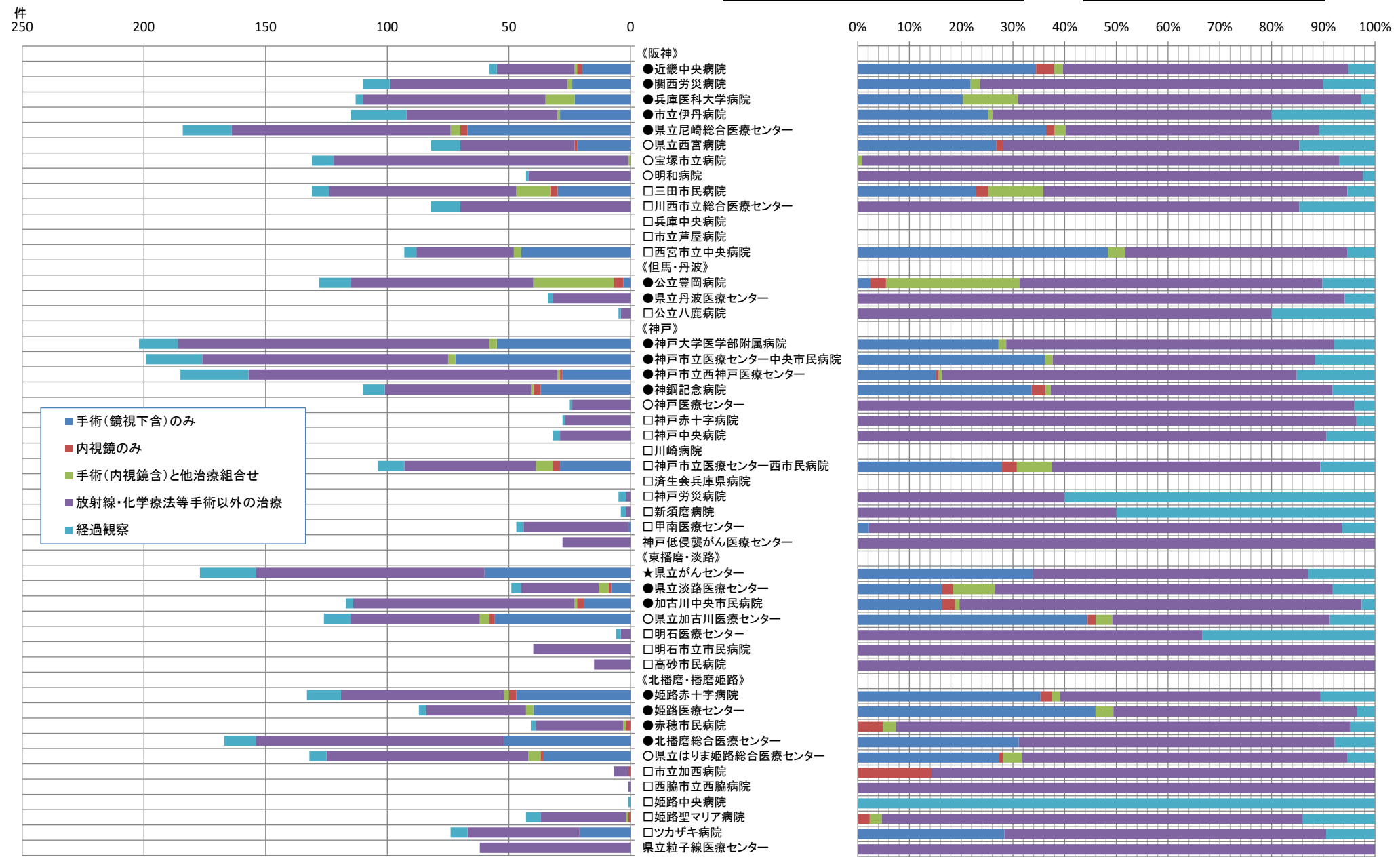


2023年症例 前立腺癌 施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)

【治療内容と集計数】
 治療集計数合計= 3,556 件
 手術(鏡視下含)のみ= 824 件
 内視鏡のみ= 34 件
 手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 107 件
 放射線・化学療法等手術以外の治療= 2,273 件
 経過観察= 318 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●国指定がん診療連携拠点病院
 ○県指定がん診療連携拠点病院
 □がん拠点病院に準じる病院

別表1



兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項目	内容
令和7年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 兵庫県がん診療連携協議会 緩和ケア部会 (年3回、Web開催予定:令和7年5月22日、9月25日、令和8年1月22日) ○ 緩和ケア部会運営事務局会議 (偶数月第1金曜日17:00～17:30 Web会議:令和7年6月6日、8月1日、10月3日、12月5日、令和8年2月6日開催) ○ 緩和ケア研修会の開催(各施設で開催) ○ 令和7年度 緩和ケアフォローアップ研修会の開催 市立伊丹病院・近畿中央病院担当 (令和7年12月7日10時～12時 Web開催: 参加者;36名) ○ 第16回兵庫県緩和ケアチーム研修会 北播磨総合医療センター担当 (令和7年12月12日17:30～18:50 Web開催: 参加者;77名) ○ 緩和ケアチームピアレビューの実施 (令和7年10月22日 Web開催 対象施設: 県立西宮病院) ○ 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査(10-12月) がん診療連携協議会HPで公開 ○ 第13回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会 (令和7年12月5日 Web開催)
令和8年度の活動計画 及び 今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 兵庫県がん診療連携協議会 緩和ケア部会 (年3回、Web開催予定:令和8年5月28日、9月24日、令和9年1月28日) ○ 緩和ケア部会運営事務局会議 (偶数月第1金曜日17:00～17:30 Web会議) ○ 小集団活動の運営 ○ 緩和ケア研修会の開催予定 協議会HP掲載 令和8年4月 ○ 緩和ケアフォローアップ研修会の開催 担当未定 (日時未定:Web開催予定) ○ 第17回兵庫県緩和ケアチーム研修会 担当未定 (日時未定:Web開催予定) ○ 緩和ケアチームピアレビューの実施 (日時未定:Web開催予定) ○ 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査 (HP公開予定) ○ ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラムに関する検討 ○ 第14回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会 (令和8年11月26日 Web開催)

《 令和7年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和8年3月末日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容 (計画)
緩和ケア部会	緩和ケア研修会	県内どこでも緩和ケアを適切に提供するために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認め、その知識や技術を習得する必要がある	緩和ケア研修の積極的な受講勧奨を行い、緩和ケア研修会に関する課題の抽出と改善策を検討する。 ① 緩和ケア研修会に関する検討会：年1回（9～10月） ② 開催報告を緩和ケア部会MLにアップし、研修会を開催する上での問題点、改善策の話し合い内容を部会全体で共有する	令和8年3月	×	未達成	緩和ケア研修会の開催報告については、緩和ケア部会で全体報告を行う方針とした。このため、SG活動としては実施せず終了とする。	完了	緩和ケア研修会については継続して開催可能となっている。しかし、看護師を対象とした「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム」については、兵庫県内では各施設や地域で開催が進められており、受講者や講師の確保が難しく、現状では開催することが困難な状況である。そこで、ELNEC-Jコアカリキュラムの各施設の開催状況やニーズについて調査し、開催支援の必要性と実施可能性について検討する。
	緩和ケアフォローアップ研修会	県内どこでも緩和ケアを適切に提供するために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認め、その知識や技術を習得する必要がある	緩和ケアに関する知識や技術を習得するために、緩和ケア研修会修了者等を対象として、緩和ケアフォローアップ研修会を企画運営する。 ①R7年4月～6月：研修会の企画・立案 ②R7年6月～10月：研修会の準備 ③R7年11～12月：研修会開催、開催後の報告	令和8年3月	○	達成	R6年6月に令和7年度の小集団活動を開始。市立伊丹病院、公立学校共済組合近畿中央病院が主幹となり、令和7年12月7日に「がん患者が利用できる社会保障制度」「転移性骨腫瘍に対する緩和ケア期の治療について」をテーマとした緩和ケアフォローアップ研修会を開催した。広報の幅を広げることで応募人数が増え、定員40名で設定を行い、応募人数40名、参加人数36名だった。	継続	令和7年度も緩和ケアフォローアップ研修会を開催。主幹ならびに研修会の講演テーマを、令和7年度緩和ケアフォローアップ研修会のアンケート調査をもとに選定・検討していく。
	緩和ケアチーム研修会	拠点病院における専門的緩和ケアサービスの質の向上が必要である。	緩和ケアに関する専門的な知識や技能を有する緩和ケアチームメンバーを育成するために、拠点病院等の緩和ケアチームによる研修会を企画運営する。 ①講演内容を相談（5月～7月） ②日時、講演内容・講師の決定（7月） ③プログラム確定、講師との連絡を事務局に依頼(8月) ④開催案内（10～11月） ⑤研修会実施（12月頃） ⑥開催後の報告、次年度への課題抽出（令和8年1月～2月）	令和8年3月	○	概ね達成	主幹施設の北播磨総合医療センターを中心に計画を進めた。WEB会議を7/24に行い、あとはメール会議で協議を行った。2025年度チーム研修会としては2025/12/12金曜日17：30～18：50で開催することに決定。2部構成で前半は講演「症状緩和にIVRができること」by国立がん研究センター東病院放射線診断科医長 荒井保典先生。後半はPDCAサイクルレビューを行うこととなった。SG3の会議、緩和ケア部会全体会議で、2026年度は講演を行わず、PDCAサイクルレビューのみを行い、チーム同士の意見交換に重点を置く方針となった。	継続	①主幹できる施設に限りがあり、対象施設の拡大が必要と考えられる。2026年度からは小集団活動の再編成がなされるので、対象施設の増加が見込まれる。②2026年度はPDCAサイクルレビューのみを行い、チーム同士の活発な意見交換を期待したい。今後もチーム研修会で行う内容については常に検証・改善が必要である。
	緩和ケアチームピアレビュー	拠点病院における専門的緩和ケアサービスの提供体制に関して、適切に他者評価ができていない。	緩和ケア提供体制に関するピアレビューを、緩和ケアチームが相互訪問することで実施する。 ①ピアレビューを受審した5施設を対象にピアレビューの効果、アウトカムについてアンケート調査を実施する（5～7月） ②ピアレビューの事務局の立ち上げ（7月） ③参加施設の選定（8月） ④ピアレビューの実施(10～12月);対象施設は1施設 ⑤ピアレビュー実施後の報告（令和8年1月～2月）	令和8年3月	○	概ね達成	・これまでにピアレビューの対象施設となった5施設に対して、効果・アウトカムについてアンケートを実施した。（5月） ・活動報告を日本緩和医療学会学術講演会でポスター発表をした(7月) ・県立西宮病院を対象施設としてピアレビューを実施した。（10月） ・報告書を作成し、対象施設に送付した。（12月）	継続	緩和ケア提供体制に関するピアレビューを、緩和ケアチームが相互訪問することで実施する。 ①ピアレビューを受審した施設を対象にピアレビューの効果、アウトカムについてアンケート調査を実施する（2～3月） ②ピアレビューの事務局の立ち上げ（7月） ③参加施設の選定（8月） ④ピアレビューの実施(10～12月) ※対象施設は1施設 ⑤ピアレビュー実施後の報告(令和9年1月～2月) ⑥活動報告の論文化（令和8年内）
	がんの痛みに対するインターベンショナル治療	がんの痛みに対して、インターベンショナル治療を提供する体制が不十分である。	がんの痛みに対するインターベンショナル治療の提供を促進する ①ペインクリニック、IVRや放射線治療などの専門的な治療の実施状況について調査する（6月～9月） ②インターベンショナル治療に関して地域連携での実施の効果について検討する（10月～12月） ③インターベンショナル治療が実施可能な施設、アクセス方法について、がん診療連携協議会HPで公開する（令和7年1月～3月）	令和8年3月	○	概ね達成	①ペインクリニック、IVRや放射線治療などの専門的な治療の状況調査（6～9月） ②アンケート調査集計と地域での効果確認（10-12月） ③がん診療連携協議会HPの更新とアクセス方法について各施設取り組み（令和8年1月-3月）	継続	次年度以降も継続して各施設の状況と取り組みについて調査する

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和8年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和8年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容 (計画)
緩和 ケア 部 会	緩和ケア フォローアップ 研修会	県内どこでも緩和ケアを適切に提供するために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認め、その知識や技術を習得する必要がある	緩和ケアに関する知識や技術を習得するために、緩和ケア研修会修了者等を対象として、緩和ケアフォローアップ研修会を企画運営する。 ①令和8年4月～6月：研修会の企画・立案 ②令和8年6月～10月：研修会の準備 ③令和8年11～12月：研修会開催、開催後の報告 ④令和9年1～2月：R9年度研修会の企画準備	令和9年 3月					
	緩和ケアチーム 研修会	拠点病院における専門的緩和ケアサービスの質の向上が必要である。	緩和ケアに関する専門的な知識や技能を有する緩和ケアチームメンバーを育成するために、拠点病院等の緩和ケアチームによる研修会を企画運営する ①令和8年5月～7月：研修会の企画・立案 ②令和8年7月：日時、企画内容・講師を確定 ③令和8年8月：プログラム確定、講師依頼 ④令和8年10月～11月：開催案内・募集 ⑤令和8年12月：研修会実施 ⑥令和9年1月～2月：開催報告書の作成、 令和9年度研修会の企画準備	令和9年 3月					
	緩和ケアチーム ピアレビュー	拠点病院における専門的緩和ケアサービスの提供体制に関して、適切に他者評価ができていない。	緩和ケア提供体制に関するピアレビューを、緩和ケアチームが相互訪問することで実施する。 ①令和8年5月～7月：事務局の立ち上げ ②令和8年8月：受審施設、レビューアーの選定 ③令和8年10月～12月：ピアレビューの実施（対象施設は1施設） ④令和9年1月：ピアレビュー実施後の報告 ⑤令和9年2月～3月：令和9年度ピアレビューの企画準備、 活動報告の論文化	令和9年 3月					
	がんの痛みに対す るインターベン ショナル治療	がんの痛みに対して、インターベンショナル治療を提供する体制が不十分である。	がんの痛みに対するインターベンショナル治療の提供を促進する。 ①令和8年6月～9月：ペインクリニック、IVRや放射線治療などの専門的な治療の実施状況について調査する ②令和8年10月～12月：インターベンショナル治療に関して地域連携での実施の効果について検討する ③令和9年1月～3月：インターベンショナル治療が実施可能な施設、アクセス方法について、がん診療連携協議会HPで公開する	令和9年 3月					
	ELNEC-Jコアカリ キュラム 看護師教 育プログラム	県内どこでも緩和ケアを適切に提供するために、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアの重要性を認め、その知識や技術を習得する必要がある	看護師を対象とした「ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム」について各施設の開催状況やニーズについて調査し、開催支援の必要性と実施可能性について検討する。 ①令和8年5月～7月：事務局の立ち上げ ②令和8年8月～10月：各施設での実施状況について調査する ③令和8年11月～12月：開催するための課題や支援に関するニーズについて検討する ④令和9年1月～3月：開催支援の実施可能性について検討する	令和9年 3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

令和7年度 第1回 緩和ケア部会議事録

日 時	令和7年5月 22日(木) 14:00~14:35	場 所	Zoom 会議
出席者	28 施設、39 名		
主な内容	<p>1. 緩和ケア部会の活動計画について</p> <p>・R6 年度活動報告・R7 年度の活動計画について、<u>資料:【緩和ケア部会】R6 活動報告・R7 計画 202504時点</u>に基づき説明を行う。</p> <p>・R6 年度は緩和ケア部会を年に4回、運営事務局会議は毎月1回開催した。</p> <p>・R7年度は、緩和ケア部会は年に3回開催へ変更とする。(R7 年5月22日、9月25日、R8 年1月22日)</p> <p>・運営事務局会議は隔月へ変更とする。(偶数月の第1金曜日17時から17時30分)。各 SG の進捗の報告、相談をグループリーダーが集まり行う。</p> <p>・今年度も5つの小集団活動を運営する。小集団のグループについては、昨年度アンケートを実施し、<u>資料:小集団活動2025(案)ver3</u> を提案させていただく。</p> <p>→2025年度に SG を移動または新規参加した施設を黄色マーカーで示している。</p> <p>→SG1 姫路医療センター吉村先生が緩和ケア部会員を交替されたため、坂下先生がリーダーを担当される。</p> <p>◎小集団活動2025(案)について出席者より賛同いただいたため、各 SG での今年度の活動を、グループリーダーを中心として開始いただく。</p> <p>・R7年度の緩和ケア部会の PDCA を共有した。<u>資料:PDCAサイクル実施・管理表(緩和ケア部会)R7(2025 年度)</u> 課題名は、SGに合わせて昨年度SGリーダーに作成頂いた。各グループ内で進捗を確認しながら活動をすすめていただく。</p> <p>2. 小集団活動について</p> <p><u>SG1:坂下先生</u></p> <p>・緩和ケア研修会指導者の会を続けてきたが、SG 内でも PEACE の開催は各地域で完結できているため、新たな課題はあまりないと考えている。そのため、今年度は、緩和ケア研修会指導者の会については終了し、部会として今後新しい活動を行うための検討をする SG としたい。</p> <p>・緩和ケア研修会の開催報告は緩和ケア部会で行っていく。</p> <p>・指導者の会の継続について、ご意見があればメーリングリスト等でいただきたい。</p> <p><u>SG2:西本先生</u></p> <p>・緩和ケアフォローアップ研修は、計画通り進めていく。</p> <p>・6月中に第1回のSGミーティングを開催する。</p> <p>・12月に予定通りフォローアップ研修を開催できるように調整していく。</p>		

	<p><u>SG3:西澤先生</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアチーム研修会の開催についての提案 <p>前回のアンケートには、休日に出勤することが難しいこともあると意見があったため、 <u>平日開催 1.5時間程度(17時から18時30分) 講演 50分 PDCA40分のご提案</u> ⇒西本先生:チャットでも肯定的なコメントが寄せられている。平日開催するのであれば、PD CAは病院単位で行い、講演は別日で行っても良いのではないかと。勤務外となるため、それぞ れが自分のPCから入るなども検討いただくのはどうか。 ⇒堀先生:講演は事前に録画し、視聴してから、チーム研修会に参加するのはどうか。 ⇒西本先生・坂下先生:平日開催に賛成が多いため、SGで協議しすすめていただく。 ・平日開催とし、開催方法等はSGで検討する。</p> <p><u>SG4:堀先生</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの受審施設にアンケート調査は終了している。 ・アンケートの結果も踏まえて、第30回日本緩和医療学会学術大会で、堀先生から活動報告を行う予定。 ・坂下先生:他のSGも学会等で活動報告をぜひ行っていただきたい。 <p><u>SG5:福永先生</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度4年目になる。リンクづけを勧めながら、地域から実際どのような声が聞かれているかの現状調査も含めたアンケート(インターベンション治療に関するアンケート)を9月に行う予定。 <p>3. その他</p> <p>◎変更事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアチームのPDCA計画を年度初めに事務局に提出いただいていたが、今年度より年度初めの提出は、なしとする。各施設でPDCAを作成し、活動をすすめていただく。 ・年度末にR7年のPDCAを完成させ提出とする。第3回の緩和ケア部会(1月22日)には、ベースができていることを目標としていただく。 ・年度末に提出する完成版は連携協議会のHPに掲載していく。 <p>*今年度も、困りごとがあれば、メーリングリスト等で相談・共有いただきたい。</p>
次回開催予定	令和7年9月25日(木)14時00～
決定事項	
運営事務局での調整が必要な事項	
SGでの検討を求める事項	

令和7年度 第2回 緩和ケア部会議事録

日時	令和7年9月 25日(木) 14:00~15:00	場所	Zoom 会議
出席者	26 施設、38 名		
主な内容	<p>1. 小集団活動について</p> <p><u>SG1:坂下先生</u> ・緩和ケア研修会の開催状況は、緩和ケア部会全体報告とする。 ・次年度、SGは4つ(SG2-5)へ減らすことを検討しているため、今年度もSG1としての会議は開催していない。</p> <p><u>SG2:西本先生</u> ・フォローアップ研修 開催日程 12/7(日) 10:00~12:00 募集期間 10/14(火)~11/18(火) 申し込み方法 Google フォーム テーマ ①がん患者が利用できる社会保険制度 近畿中央病院 合屋先生 ②転移性骨腫瘍に対する緩和ケア期の治療について 市立伊丹病院 中井先生 ・広報については、日本緩和医療学会関西支部学術大会でアナウンスを行った。また、兵庫県医師会へも広報を行う予定としている。今年度は医師会の先生方に参加いただけるように、日曜日開催とした。 ◎自施設の医師へフォローアップ研修の広報をお願いしたい。</p> <p><u>SG3:西澤先生</u> ・第16回緩和ケアチーム研修会 開催日程 12/12(金) 17:30~18:50 開催案内 メーリングリストで9/24に案内を行った 募集期間 ~10/20(月) 申し込み方法 Google フォーム テーマ ①講演(症状緩和にIVRができること) ②PDCA ・次年度は、働き方改革に配慮し、PDCAのみ(40-50分)で検討している。 次年度以降の主幹病院は今後協議していく、</p> <p><u>SG4:福永先生(県立西宮)</u> ・ピアレビュー 今年度は1回のみ開催予定 開催日程 10月22日(水)午後 受審施設 県立西宮病院 ・現在受審施設と質問項目等調整中 次年度以降もレビュー・受審施設を募集していきたい。 ・堀先生より日本緩和医療学会で、今までの受審施設のアンケート結果等報告されている。 ◎当日見学の希望があれば、堀先生にメールをお願いしたい。</p>		

SG5:福永先生

・インターベンション治療へのアンケート調査を依頼している。締め切りは9月30日(火)
現在33施設に回答いただいている。まだ回答いただいていないご施設は、メール(PDF)または Google フォームへ入力をお願いしたい。重複回答のご施設があり、メールで10月以降に連絡させていただく。

坂下先生より

◎各Gの議事録・開催報告をメーリングリストで共有いただく。

2. 緩和ケア部会の R8 年度以降の活動・運営について

・次年度は、SG2-5 での活動を検討している。

・今年度は緩和部会を4回から3回へ変更している。時間内の業務であり、部会員のタスクを減らしていきたい。兵庫県がん対策の中でやるべきこととして記載されているのが、SG2. 3. 4の活動となる。SG5はがん診療連携拠点病院の指定要件となるため、部会としてインターベンション治療の各施設の状況を情報共有し、公開していくことは継続したい。そのため、SG2-5の活動を次年度は検討したい。

・がん診療連携協議会の部会であり、国指定(18 施設) 県指定(6施設)は部会に積極的に参加してほしい。(国:18 県:6 その他:23 協議会への登録:47病院)

・次年度以降の拠点の指定が分からないが、SG を4つとし、各グループに国・県を均等に配分し、グループ中心にすすめていただきたい。準拠点病院は、負担が大きくならないように、希望があれば、SG に参加いただく。

・山川先生(情報連携部会部会長)より

情報連携部会は、部会員から業務負担が多く、タスクを減らしてほしいと希望があり、SG を4G から3G へ減らした。

・西本先生より

SG を4G へ減らすことに賛成する。負担が大きい SG4(ピアレビュー)に多く人数を割り当てても良いのではないかと。今後ピアレビューが2回開催になるのであれば、多くの施設に協力いただき負担を減らすことも検討が必要である。

・坂下先生より

各 SG 間の業務負担量の違いがある。

フォローアップ研修会・チーム研修会は主幹施設を作っており、主幹施設の負担が大きい。

どのように主幹施設を決めていくか?

・西澤先生より

SG内で完結する方法と全体で主幹施設を回すかのどちらかになる。

・坂下先生より

第6次ひょうご対がん戦略推進方策は2029年度までとなる。拠点病院は国18(17+こども1) 県6の24施設。SG が4つあるため、1グループ6施設で SG を固定して、4年で回すのはどうか。地域がん診療病院の赤穂市民病院・丹波医療センターを除くと16施設のため、国拠点4施設でSGを回すのはどうか。

・福永先生より

インターベンション治療に関しては、福永先生・濱中先生の二人が中心で行っている。

SG5は新たな取り組みを行うことがなければ、2人で維持することができるため、他のSGにメンバーをまわしてはどうか。

チーム研修会は、国拠点で回してもよいと考える。

	<p>・坂下先生より SGを担当する施設数とグループ編成は坂下先生に検討いただく。 チーム研修はPDCAピアレビューのみとなるため、募集・受付が中心となる。 フォローアップは企画・運営が必要である。</p> <p>・西本先生より SG2は、2テーマで1時間ずつ、演者2名をお願いしている。 当番が1施設だと、2名の講師の確保が難しい。今回は伊丹と近畿中央の2施設だったため、講師が決めやすかった。 運営についてはマニュアル化すれば、開催は可能だと考える。主幹施設が増えればよい。 担当したことがない施設に、SGへ参加頂くのはどうか。</p> <p>・坂下先生より これまでチーム研修会・フォローアップ研修会を担当したことがない施設を事務局に確認し、第3回の部会までに(年内に)希望を確認し、部会でグループ編成を提示する。</p> <p>3. その他</p> <p>・西本先生より フォローアップ研修の講義の質の評価をどのように行うかが課題と考えている。 事前に講師スライドのチェックをすることは難しいため、どのように質を担保していくか。 兵庫県の仕事でもあり、信頼できる先生方に講師を依頼しているが、事前にチェックをするべきか悩ましい。</p> <p>・堀先生より 終了後アンケートはされているか？ ⇒アンケートは定期的にはしていない。(西本先生) 講師の先生の評価をするのは難しいが、参加者が興味をもてるテーマを提示できたかの運営側の評価はできるのではないか。</p> <p>・合屋先生より フォローアップ研修会でとりあげるテーマは決められているため、10個くらいのテーマをPEACEのスライドに沿って作っていけばよいのではないか。SGでテーマをいくつか設定して、担当施設に依頼する。スライドをブラッシュアップしながら続けていくのはどうか。</p> <p>・坂下先生より PEACEのフォローアップ研修のため、外部講師を招くよりは、部会員で講義をしていくことを推奨したい。</p> <p>◎各SGリーダー：部会のPDCAのCAの記載をする ◎各施設のPDCAの進捗を記載する。</p> <p>*困りごとがあれば、メーリングリスト等で相談・共有いただきたい。</p>
次回開催予定	令和8年1月22日(木)14時00～
決定事項	
運営事務局での調整が必要な事項	
SGでの検討を求める事項	

令和7年度 第3回 緩和ケア部会議事録

日時	令和8年1月 22日(木) 14:00~15:00	場所	Zoom 会議
出席者	25 施設、37 名		
主な内容	<p>1. 緩和ケア研修会開催報告</p> <p>【資料:(R7 緩和ケア研修会)12 月末時点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア研修開催状況について(令和7年12月まで) <p>国拠点:15回 304名 国拠点以外:6回 102名 合計406名が受講を終了している。1~3月開催予定の施設もあり。 医師以外の受講者については、資料を確認いただく。</p> <p>*令和8年度の緩和ケア研修会の開催予定について</p> <p>4月に兵庫県がん診療連携協議会のHPへ掲載予定 各施設の開催予定(定員・コメディカルの募集・問い合わせ先:事務担当/企画担当者・ 開催形式等)を3月末までに、がん診療連携協議会事務局にMailで連絡をする。 Mail: jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp</p> <p>2. 緩和ケア部会の小集団活動について</p> <p>【資料:PDCA サイクル実施・管理表(緩和ケア部会)R7(2025)年度評価 確定版】</p> <p><u>SG1:坂下先生</u></p> <p>緩和ケア研修会は継続で開催できているため、SG1は活動完了とする。 ⇒PEACE プログラムは開催状況の把握はできているが、ELNEC-J コアカリキュラムの普及 に関しては今後の課題と考える。次年度はひとまず開催状況の把握を行い部会としての活動 を検討していく。</p> <p>* ELNEC-J コアカリキュラム開催状況調査報告:乾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・27名(24施設)から回答いただいた。 ・開催状況の全体像としては、2024年度、2025年度の開催状況について、70%前後の施設が「開催していない」と回答、20%の施設では継続して開催できている。 ・開催支援を希望する施設は41%で、支援希望内容は、講師派遣・ファシリテーター派遣、複数施設合同開催の調整、開催情報の一覧化(PEACE 研修方式)、講師謝金などの費用支援、事務作業のサポート(案内・申込管理など)であった。 <p>⇒次年度は、開催状況の把握を事務局(乾・坂下医師)で行うため、ELNEC-J に関わる 看護師の皆様へ協力をお願いしたい。</p> <p><u>SG2:西本先生</u></p> <p>【資料:実施報告書 R7年度 兵庫県緩和ケアフォローアップ研修会、令和7年度緩和ケアフォローアップ研修会アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立伊丹病院、公立学校共済組合近畿中央病院が主幹となり、令和7年12月7日(日)に「がん患者が利用できる社会保障制度」「転移性骨腫瘍に対する緩和ケア期の治療につ 		

いて」をテーマとした緩和ケアフォローアップ研修会を開催した。広報の幅を広げることで応募人数が増え、定員 40 名で設定を行い、応募人数 40 名、参加人数 36 名だった。

・アンケート結果から研修内容に関して好評であった。参加者に関しては、3分の1が兵庫県医師会からの広報で参加いただいております、開催日を日曜日にしたため開業医の先生方の参加が増えたと評価する。部会の皆様からの院内広報からも参加いただいております感謝したい。

・次回以降のテーマの希望も聞いているため、継続可能な内容で研修を続けていきたい。

SG3:西澤先生

【資料:緩和ケアチーム研修会(アンケート結果)・第16回緩和ケアチーム研修会報告書】

・主幹施設の北播磨総合医療センターを中心に計画を進めた。2025 年度チーム研修会としては令和7年 12 月 12 日(金) 17:30~18:50 で開催した。2部構成で前半は講演「症状緩和に IVR ができること」後半は PDCA サイクルピアレビューを行った。

・24施設、63名の参加があり、アンケート結果より、講演内容・PDCAともに評価は高く、積極的に参加いただいた結果と考える。

・次年度以降の開催内容について、SG3ではPDCAのみを行うことも検討していたが、アンケートより講義+PDCAの希望が半数以上にあったこと、時間内開催にするかなども意見をいただきたい。講義50分+PDCA20-30分、計70-80分程度の時間での検討となる。

⇒坂下先生:働き方改革もあり、あまり時間外開催をすすめるべきではないが、現状では時間外での調整となるのではないかと。長くても17時から90分までのプログラムと考える。

⇒堀先生:研修会としているため、時間外にするのは仕方ない。ただ自己研鑽だが、時間外に残るとなると人数が集めにくい。病院にチーム全員が集まると負担があるため、個人の PC から Zoom に入ることはどうか?

⇒西澤先生:1施設複数台で参加できるように調整したい。

⇒坂下先生 事務局の負担は大きくなるため、SG3でも検討いただき、適宜メーリングリストでもご意見いただきたい。

SG4:堀先生

・県立西宮病院を対象施設として、10月にピアレビューを実施。報告書を作成し、対象施設に送付した。今年度は1施設を対象としたが、対象施設・レビューワーともに学びになる機会となった。今後、アンケートを実施しアウトカム評価していきたい。

・次年度以降も1施設を対象に行っていく。対象施設は1時間程度の拘束時間であるため、参加希望を募ってきたい。

・これまでの活動報告を論文化し、緩和医療学会へ投稿を予定している。

⇒坂下先生:ピアレビュー受審により、病院執行部へのアピールとなるため、ぜひ参加希望されたい施設はご連絡いただきたい。

SG5:福永先生

【HP 共有:https://hyogo-ganshinryo.jp/profile/pdf/ivr_260116.pdf】

・9月末時点での症状緩和のための専門的治療一覧を更新したため、内容の確認をお願いしたい。

・概要から、自施設の HP にとぶようにしている。追加・修正の希望があれば、リンクのアドレスを福永先生まで連絡いただく。(1/22緩和ケア部会終了後メールでの連絡あり)

	<p>・4年間の SG としてのワーキングは終了し、事務局として運営していく予定としている。</p> <p>・次年度以降は9月の一斉のアンケートは行わず、変更がある場合のみ事務局（福永先生・坂下先生）へ連絡いただき、情報更新していく。</p> <p>3. 令和7年度緩和ケアチームの実施計画・管理表の提出と公開について</p> <p>・各施設の PDCA は本日締め切りとしていたが、間に合わない場合は1月末までには提出。</p> <p>・令和 8 年度の各施設の PDCA シートはメーリングで送信。4月の連携協議会で報告するため、3月末までにがん診療連携協議会事務局へ提出する。</p> <p>*今後の予定</p> <p>・2月：連携協議会の幹事会で令和 7 年度緩和ケア部会の活動報告を予定。</p> <p>・4月：連携協議会で令和8年度活動計画を報告予定。</p> <p>4.緩和ケア部令和 8 年度の活動・運営について</p> <p>・SG の組み分けについては、第一希望に沿って組み分けしたかったが、難しいご施設もあった。次年度は SG5つから3つへ変更する。国・県拠点の参加は必須とする。</p> <p>1) 緩和ケアフォローアップ研修 リーダー：西本先生</p> <p>2) 緩和ケアチーム研修会 リーダー：西澤先生</p> <p>3) 緩和ケアチームピアレビュー リーダー：堀先生</p> <p>4) インターベンション 事務局：福永先生・濱中先生</p> <p>5) ELNEC-J 事務局：乾・坂下先生</p> <p>・SG 最終版をメーリングリストへ送信する。</p> <p>・リーダーの先生方には次年度の計画案を練っていただきたい。</p> <p>5. そのほか</p> <p>・次年度の緩和ケア部会の回数については、年に3回、5月9月1月で検討していきたい。</p> <p>第4木曜日を予定し、日程が決まればメーリングでお知らせする。</p> <p>6. 提出・連絡期限について</p> <p>①令和7年度 PDCA：1月末までに提出</p> <p>②令和8年度 PDCA：3月末までに提出。</p> <p>③令和8年度緩和ケア研修会開催予定（定員・コメディカルの募集・問い合わせ先：事務担当/企画担当者・開催形式等）：3月末までに連絡。</p> <p>提出・連絡先：がん診療連携協議会事務局 Mail: jimukyoku@hyogo-ganshinryo.jp</p> <p>*困りごとがあれば、メーリングリスト等で相談・共有いただきたい。</p>
次回開催予定	決まり次第メーリングリストで共有予定
決定事項	
運営事務局での調整が必要な事項	
SG での検討を求める事項	

2025年度 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 開催一覧

開催日	主催病院	定員	コメディカルの募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式(WEB/集合)等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
8月16日(土)	県立淡路医療センター	24名	若干名	0799-22-1200	がん相談支援センター 十川 ゆかり	伏見 洋子	開催形式：集合 院外募集 若干名
8月23日(土)	県立丹波医療センター	12名	有り	0795-88-5200	総務課 桑田 龍輝	板倉 崇泰	開催形式：集合
8月30日(土)	神戸市立医療センター 中央市民病院	30名	若干名 ※備考欄 参照	078-302-4321	地域医療推進課	西本 哲郎	開催形式：集合 ※コメディカルの方はロールプレイには傍聴者 として参加いただき、事例検討などのグループ ワークには実際に参加していただきます
9月13日(土)	姫路医療センター	15名	有り	079-225-3211	がん相談支援室 間庭	丸田 力	開催形式：集合
9月28日(日)	近畿中央病院	24名 予定	有り	072-781-3712	企画課 診療支援係 牧野 友美	合屋 将	開催形式：集合
10月4日(土)	神鋼記念病院	24名	無し	078-261-6711 (代表)	地域医療連携室 山田	山川 宣	開催形式：集合 院外募集 若干名
10月4日(土)	県立はりま姫路 総合医療センター	36名	有り	079-289-5080	総務課 蔭木 憲志	木村 洋平	開催形式：集合
10月5日(日)	神戸市立 西神戸医療センター	18名	有り	078-997-2200	地域医療課 江良	安藤 俊弘	開催形式：集合
10月5日(日)	赤穂市民病院	12名	有り	0791-43-3222	地域医療室 木村 泰延	久保川 修	開催形式：集合 詳細については赤穂市民病院 ホームページをご参照ください
10月19日(日)	宝塚市立病院	18名	無し	0797-87-1161	経営統括部 吉野	野間 秀樹 奥本 龍夫	開催形式：集合
10月26日(日)	北播磨総合 医療センター	21名	有り	0794-88-8800	患者総合サポートセンター 井谷・安川	山名 順子	開催形式：集合 院外からの受講可
11月1日(土)	兵庫医科大学病院	30名	無し	0798-45-6611	管理課 白神 知佳	廣瀬 宗孝	開催形式：集合 院外から受講可
11月2日(日)	加古川中央市民病院	24名	有り	079-451-5500 (代表)	緩和ケアセンター 福富 奈緒美	西澤 昭彦	開催形式：集合 院外から受講可
11月15日(土)	神戸市立医療センター 西市民病院	20名 程度	有り	078-576-5251	総務課経理係 瀬川	姜 貴嗣	開催形式：集合(予定)
11月16日(日)	神戸大学医学部 附属病院	30名 程度	未定	078-382-5111	腫瘍センター 高山	伊藤 まどか	開催形式：WEB 院外募集 若干名 初期研修医は2年目以降対象
11月22日(土)	姫路赤十字病院	24名	無し	079-294-2251	がん診療連携課 井上・安東	福永 智栄	開催形式：集合
11月22日(土)	県立西宮病院	15名	若干名 (要問合せ)	0798-34-5151	総務課 大森 遼平	福永 睦	開催形式：集合 院外から受講可 初期研修医は2年目以降対象
11月29日(土)	県立尼崎総合 医療センター	30名	有り	06-6480-7000	経営企画課 公文	河田 岳人	開催形式：集合
11月29日(土)	関西労災病院	18名	無し	06-6416-1221	医事課 岸上	堀 謙輔	開催形式：集合 院外募集 有り
12月6日(土)	県立加古川 医療センター	18名	有り	079-497-7000 (代表)	総務課 浦田 悦子	田中 祐子	開催形式：集合 院外募集 若干名
12月7日(日)	JCHO神戸中央病院	12名	有り	078-594-2211 (病院代表)	総務企画課 高橋	三田 礼子	開催形式：集合(感染状況によりWeb) 院外募集 有り 初期研修医は2年目以降対象

2026年

開催日	主催病院	定員	コメディカルの募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式(WEB/集合)等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
1月25日(日)	市立伊丹病院	24名	有り	072-777-3118	総務課 中塚 敬之	三好 崇文	開催形式：集合 院外からの受講可
2月14日(土)	神戸医療センター	医師21名 (医師以外 若干名)	有り (若干名)	078-791-0111	地域医療連携室 中村 洋貴	宮崎 博之	開催形式：集合
3月8日(日)	公立豊岡病院	18名	無し	0796-22-6111	管理課	(未定)	開催形式：集合 院外からの受講可
3月14日(土)	県立丹波医療センター	12名	有り	0795-88-5200	総務課 桑田 龍輝	板倉 崇泰	開催形式：集合
3月15日(日)	市立芦屋病院	30名 程度	有り	0797-31-2156	地域連携室 岡野	石丸 紗也佳 武田 亜衣	開催形式：集合 院外から受講可 初期研修医1年目 受講可能

○緩和ケア研修開催状況(平成20年度～令和7年度)

(国拠点病院)

圏域	開催医療機関名	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	病院計
神戸	神戸大学医学部附属病院	29	32	35	56	28	27	26	188	146	86	97	138	10	130	99	75	71	14	1,287
	神戸市立医療センター中央市民病院	-	31	39	27	25	21	18	23	78	22	25	45	31	27	30	21	25	26	514
	神戸市立西神戸医療センター	-	-	-	-	-	-	14	18	21	22	19	24	12	17	18	16	18	18	217
	神鋼記念病院	-	-	-	-	-	18	20	18	17	16	26	39	-	19	16	16	14	17	236
阪神南	関西労災病院	20	21	18	22	21	18	18	23	41	18	24	21	18	23	15	20	15	15	371
	兵庫医科大学病院	-	22	29	16	25	26	18	74	86	71	36	21	12	18	24	24	27	21	550
	県立尼崎総合医療センター	-	20	-	24	33	27	21	28	34	28	36	36	24	27	29	27	30	27	451
阪神北	近畿中央病院	24	16	15	17	16	14	16	13	11	18	24	25	6	16	20	20	24	17	312
	市立伊丹病院	-	22	25	24	21	16	20	33	35	23	35	36	-	18	32	29	15	1月開催予定	384
東播磨	県立がんセンター	84	26	26	41	21	15	22	21	27	23	26	-	-	11	9	12	7	-	371
	加古川中央市民病院	-	-	-	-	-	-	-	17	30	29	23	23	9	18	24	18	17	24	232
北播磨	北播磨総合医療センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	26	33	82
	西脇市立西脇病院	-	24	19	22	23	16	16	17	21	15	24	24	11	10	16	-	-	-	258
中播磨	姫路医療センター	-	21	23	21	22	22	21	29	29	24	15	27	9	15	15	15	11	19	338
	姫路赤十字病院	-	52	-	25	22	24	24	23	24	31	33	33	18	24	23	31	24	28	439
西播磨	赤穂市民病院	-	22	15	17	16	22	13	11	18	16	23	17	18	12	12	12	12	11	267
但馬	公立豊岡病院組合立豊岡病院	-	18	16	16	16	16	14	12	11	15	9	中止	-	21	11	9	11	3月開催予定	195
丹波	県立丹波医療センター	-	23	18	19	19	21	9	23	21	16	26	50	12	11	29	30	18	12	357
淡路	県立淡路医療センター	-	21	12	11	18	18	23	24	36	15	29	22	11	12	14	17	13	22	318
合 計		157	371	290	358	326	321	313	595	686	488	530	581	201	429	436	415	378	304	7,179
開催回数		4回	15回	13回	16回	14回	14回	14回	19回	21回	16回	15回	18回	14回	20回	21回	21回	18回	15回	288回

(国拠点病院以外)

圏域	開催医療機関名	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	病院計
神戸	独立行政法人国立病院機構神戸医療センター	-	23	30	17	22	18	16	25	28	27	25	28	-	17	12	20	15	2月開催予定	323
	神戸赤十字病院	-	-	-	-	-	-	23	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42
	JCHO神戸中央病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	23	23	9	9	11	11	14	12	131
	神戸市立医療センター西市民病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	18	17	16	15	87
阪神南	県立西宮病院	-	-	-	18	17	14	16	18	15	20	24	21	9	14	14	16	12	12	240
	西宮市立中央病院	-	-	-	-	14	-	17	-	22	-	21	-	中止	16	18	18	18	-	144
	明和病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12
阪神北	市立戸屋病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	27	19	28	24	29	24	3月開催予定	182
	宝塚市立病院	-	-	20	22	22	20	21	19	27	24	23	28	-	18	20	16	23	12	315
東播磨	川西市立総合医療センター	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	県立加古川医療センター	-	-	-	-	-	-	-	12	32	18	17	22	-	15	15	18	18	15	182
北播磨	西脇市立西脇病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	北播磨総合医療センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	20	20	18	22	24	-	-	-	124
中播磨	県立はりま姫路総合医療センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	24	-	19	28	35	36	36	202
	ツカザキ病院 ※拠点病院等外 特非)日本緩和医療学会	-	-	-	-	19	15	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	12
合 計		0	23	50	76	90	52	102	93	124	128	208	193	55	191	184	180	188	102	2,039
開催回数		0回	2回	2回	5回	6回	5回	9回	9回	9回	10回	13回	12回	5回	11回	10回	9回	10回	6回	133回

総 計	157	394	340	434	416	373	415	688	810	616	738	774	256	620	620	595	566	406	9,218
開催回数総計	4回	17回	15回	21回	20回	19回	23回	28回	30回	26回	28回	30回	19回	31回	31回	30回	28回	21回	421回

※神戸医療センター: H26年度まで国拠点、H27年度から国拠点以外
 ※西神戸医療センター: H26年度まで国拠点以外、H27年度から国拠点
 ※市立伊丹病院: H30年度まで国拠点以外、H31年度から国拠点
 ※加古川中央市民病院: R元年度まで国拠点以外、R2年度から国拠点
 ※神鋼記念病院: R2年度まで国指定以外、R3年度から国拠点
 ※県立尼崎総合医療センター: R2年度まで国拠点以外、R3年度から国拠点
 ※北播磨総合医療センター: R4年度まで国拠点以外、R5年度から国拠点
 ※西脇市立西脇病院: R4年度まで国拠点、R5年度から国拠点以外
 ※人数については、各病院で開催した研修会の修了者人数のため、開催病院の所属医師ではない医師等も含まれている。

○緩和ケア研修職種別受講状況(令和5年度～令和7年度)

(国拠点病院)

圏域	開催医療機関名	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
		医師	歯科医師	左記以外	合計	医師	歯科医師	左記以外	合計	医師	歯科医師	左記以外	合計
神戸	神戸大学医学部附属病院	61	0	14	75	63	1	7	71	14	0	0	14
	神戸市立医療センター中央市民病院	18	3	0	21	23	2	0	25	24	2	0	26
	神戸市立西神戸医療センター	15	1	0	16	17	0	1	18	18	0	0	18
	神鋼記念病院	10	0	6	16	9	0	5	14	12	0	5	17
阪神南	関西労災病院	19	0	1	20	15	0	0	15	15	0	0	15
	兵庫医科大学病院	23	1	0	24	27	0	0	27	21	0	0	21
阪神北	県立尼崎総合医療センター	27	0	0	27	23	0	7	30	23	0	4	27
	近畿中央病院	14	0	6	20	10	2	12	24	10	1	6	17
	市立伊丹病院	15	1	13	29	8	0	7	15				0 ※R8.1月開催予定
東播磨	県立がんセンター	10	0	2	12	5	1	1	7	-	-	-	-
	加古川中央市民病院	15	0	3	18	14	0	3	17	21	0	3	24
北播磨	北播磨総合医療センター	22	0	1	23	23	0	3	26	29	1	3	33
中播磨	姫路医療センター	12	0	3	15	7	0	4	11	14	0	5	19
	姫路赤十字病院	24	0	7	31	24	0	0	24	23	0	5	28
西播磨	赤穂市民病院	6	0	6	12	9	0	3	12	6	0	5	11
但馬	公立豊岡病院組合立豊岡病院	9	0	0	9	11	0	0	11				0 ※R8.3月開催予定
丹波	県立丹波医療センター	17	0	13	30	4	1	13	18	2	0	10	12 ※R8.3月開催予定(2回目)
淡路	県立淡路医療センター	13	1	3	17	11	0	2	13	20	0	2	22
合計		330	7	78	415	303	7	68	378	252	4	48	304
受講者の割合		79.5%	1.7%	18.8%	100.0%	80.2%	1.9%	18.0%	100.0%	82.9%	1.3%	15.8%	100.0%

(国拠点病院以外)

圏域	開催医療機関名	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
		医師	歯科医師	左記以外	合計	医師	歯科医師	左記以外	合計	医師	歯科医師	左記以外	合計
神戸	独立行政法人国立病院機構神戸医療センター	17	0	3	20	12	0	3	15				0 ※R8.2月開催予定
	JCHO神戸中央病院	10	0	1	11	11	0	3	14	8	0	4	12
	神戸市立医療センター西市民病院	14	0	3	17	11	0	5	16	12	0	3	15
阪神南	県立西宮病院	16	0	0	16	12	0	0	12	11	1	0	12
	西宮市立中央病院	12	0	6	18	15	2	1	18	-	-	-	-
	明和病院	-	-	-	-	10	0	2	12	-	-	-	-
	市立芦屋病院	16	0	13	29	18	1	5	24				0 ※R8.3月開催予定
阪神北	宝塚市立病院	12	1	3	16	15	1	7	23	11	1	0	12
東播磨	県立加古川医療センター	15	0	3	18	12	0	6	18	8	0	7	15
北播磨	西脇市立西脇病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中播磨	県立はりま姫路総合医療センター	35	0	0	35	35	0	1	36	34	1	1	36
	ツカザキ病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		147	1	32	180	151	4	33	188	84	3	15	102
受講者の割合		81.7%	0.6%	17.8%	100.0%	80.3%	2.1%	17.6%	100.0%	82.4%	2.9%	14.7%	100.0%

総計	477	8	110	595	454	11	101	566	336	7	63	406
受講者総計の割合	80.2%	1.3%	18.5%	100.0%	80.2%	1.9%	17.8%	100.0%	82.8%	1.7%	15.5%	100.0%

※北播磨総合医療センター:R4年度まで国拠点以外、R5年度から国拠点

※西脇市立西脇病院:R4年度まで国拠点、R5年度から国拠点以外

	R5		R6		R7	
看護師	79	13.3%	76	13.4%	46	11.3%
薬剤師	15	2.5%	13	2.3%	15	3.7%
理学療法士	2	0.3%		0.0%		0.0%
作業療法士	1	0.2%		0.0%	1	0.2%
公認心理師	6	1.0%	1	0.2%		0.0%
社会福祉士	2	0.3%		0.0%		0.0%
管理栄養士	4	0.7%	5	0.9%	1	0.2%
助産師	0	0.0%	2	0.4%		0.0%
放射線技師	1	0.2%		0.2%		0.0%
計	110		101		63	

2026年度 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 予定表 (2026.4.2 現在)

開催日	主催病院	定員	コメディカルの募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
8月29日(土)	神戸市立医療センター 中央市民病院	30名	有り	078-302-4321	地域医療推進課	西本 哲郎	開催形式：集合
9月5日(土)	姫路医療センター	15名	有り	079-225-3211	がん相談支援室 間庭	丸田 力	開催形式：集合
9月26日(土)	県立はりま姫路 総合医療センター	36名	若干名	079-289-5080	総務課 蔭木 憲志	木村 洋平	開催形式：集合 院外から受講可 締切：未定
10月3日(土)	神鋼記念病院	24名	無し	078-261-6711 (代表)	(未定)	山川 宣	開催形式：集合
10月4日(日)	神戸市立 西神戸医療センター	18名	有り	078-997-2200 (代表)	地域医療課	安藤 俊弘	開催形式：集合
10月18日(日)	宝塚市立病院	12名	無し	0797-87-1161	経営統括部 吉野・西岡	野間 秀樹 奥本 龍夫	開催形式：集合 5月中旬 募集開始 締切：6月30日(火)
10月25日(日)	北播磨総合 医療センター	24名	有り	0794-88-8800	患者総合サポートセンター 井谷・安川	山名 順子	開催形式：集合
11月7日(土)	兵庫医科大学病院	30名	若干名	0798-45-6611	管理課 田坂 果穂	狩谷 伸享	開催形式：集合 【(院外者用) 受講申込フォーム】
11月8日(日)	加古川中央市民病院	18名	有り	079-451-5500 (代表)	緩和ケアセンター 福富 奈緒美	西澤 昭彦	締切：9月4日(金) 開催形式：集合 院外からの受講可
11月21日(土)	姫路赤十字病院	24名	無し	079-294-2251	がん診療連携課 井上・安東	福永 智栄	開催形式：集合
11月21日(土)	県立西宮総合 医療センター	20名	有り	新病院移転後に 掲載	(未定)	福永 睦	開催形式：集合 7月1日新病院移転後に 受付開始予定 締切：10月2日(金)
12月5日(土)	県立尼崎総合 医療センター	30名	有り	06-6480-7000	経営企画課 長田 拓也	河田 岳人	開催形式：集合 院外募集：若干名
12月6日(日)	JCHO神戸中央病院	12名	若干名	078-594-2211 (代表)	総務企画課	三田 礼子	開催形式：集合 (感染状況によりWeb) 院外募集 有り 初期研修医 2年目以降対象

2027年

開催日	主催病院	定員	コメディカルの募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
2月7日(日)	市立伊丹病院	24名	有り	072-777-3773 内線5263	総務課 中塚 敬之	森田 俊治	開催形式：集合 院外からの受講可 締切日は決まり次第 HPIに掲載します
2月13日(土)	神戸医療センター	18名	若干名	078-791-0111	地域医療連携室 中村 洋貴	宮崎 博之	締切：1月末 開催形式：集合 院外からの受講可
2月21日(日) (調整中)	県立がんセンター	24名	有り	078-929-1151	総務課 小林	丸中 淳	開催形式：集合 詳細は決まり次第 がんセンターHPIに 掲載します
3月7日(日)	公立豊岡病院	18名	無し	0796-22-6111	管理課 北村	(未定)	開催形式：集合 院外からの受講可
3月14日(日)	市立芦屋病院	30名 程度	有り	0797-31-2156	地域連携室 岡野	石丸 紗也佳 武田 亜衣	開催形式：集合 院外から受講可 (初期研修医1年目可能)

※ 上記研修会は状況により中止、変更等の可能性もあります。詳細は各施設にお問い合わせ下さい。

令和7年度 兵庫県緩和ケアフォローアップ研修会 実施報告書

令和7年度 兵庫県緩和ケアフォローアップ研修会 開催議事録

司会	医療法人信和会 明和病院 泉田 日奈子 看護師	
講師	近畿中央病院 呼吸器内科 合屋 将 先生 市立伊丹病院 整形外科 中井 隆彰先生	
参加スタッフ (順不同) (敬称略)	近畿中央病院 公立豊岡病院 市立伊丹病院 神戸市立医療センター中央市民病院 西脇市立西脇病院 明和病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター	合屋 将 義本 裕次 三浦 純子 西本 哲郎 藤本 有紀 泉田 日奈子 坂下 明大 (オブザーバー)
開催方式	Web (Zoom)	
応募人数	40名 (参加36名、事前不参加 2名、当日欠席 2名 途中退席 0名)	
プログラム		
		内容
10:00	開会の挨拶	緩和ケア部会長 坂下 明大 先生
10:03	講義1 がん患者が利用できる 社会保険制度	講師：合屋 将 先生 内容：がん治療における経済的問題、がん患者が利用できる社会保険制度（傷病手当、障害年金、介護保険、介護休業制度など）の内容から申請方法まで、社会保険制度を学ぶリソースの紹介 形式：スクール形式での講義
10:58	休憩	
11:03	講義2 転移性骨腫瘍に対す る緩和ケア期の治療 について	講師：中井 隆彰 先生 内容：転移性骨腫瘍の特徴・治療、病的骨折の手術適応と治療選択のポイント（四肢長管骨・脊椎転移の治療）、転移性骨腫瘍による痛みへの治療 形式：スクール形式での講義
11:57	閉会の挨拶	公立豊岡病院 義本 裕次 先生

2025年度 第16回兵庫県緩和ケアチーム研修会 報告書

日 時	令和7年12月12日（日）17時30分～18時55分	場 所	Zoom
担当 講師	運営) 北播磨総合医療センター 講師) 国立がん研究センター東病院 放射線診断科 医長 荒井 保典 先生		
主な内容	研修会テーマ：「症状緩和に IVR ができること」 司会：北播磨総合医療センター 緩和ケア内科 山名 順子 先生 参加者：24病院 各施設2～4名 計63名参加 本日の内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">17時30分～17時35分</div> 開会の挨拶：緩和ケア部会長 兵庫県立はりま姫路 総合医療センター 緩和ケアセンター長 坂下 明大 先生 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">17時35分～18時30分</div> 講演： 国立がん研究センター東病院 放射線診断科 医長 荒井 保典 先生 「症状緩和に IVR ができること」 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">18時30分～18時50分</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自施設のPDCAサイクルについてグループディスカッション ・以下の1Gに2施設の12グループに分かれてピアレビューを実施した <ol style="list-style-type: none"> ① JCHO 神戸中央病院 ツカザキ病院 ② 兵庫医科大学 姫路赤十字病院 ③ 県立はりま姫路医療センター 神戸医療センター ④ 市立芦屋病院 北播磨総合医療センター ⑤ 県立粒子線医療センター 県立西宮病院 ⑥ 西神戸医療センター 加古川中央市民病院 ⑦ 県立加古川医療センター 明和病院 ⑧ 宝塚市立病院 公立豊岡病院 ⑨ 県立尼崎総合医療センター 姫路医療センター ⑩ 神戸市立医療センター中央市民病院 市立伊丹病院 ⑪ 県立丹波医療センター 赤穂市民病院 ⑫ 県立がんセンター 県立淡路医療センター <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">18時50分～18時55分</div> 閉会の挨拶：北播磨総合医療センター 緩和ケア内科 山名 順子 先生		

2025年度 第1回兵庫県緩和ケアチームピアレビュー 報告書

日時	令和7年10月22日(水)13時30分~16時30分	場所	Zoom 会議
対象施設	兵庫県立西宮病院		
レビュー (8名)	木村 好江	兵庫県立がんセンター	
	板倉 崇泰	兵庫県立丹波医療センター	
	堀 謙輔	関西労災病院	
	乾 貴絵	兵庫医科大学病院	
	西村 晴美	兵庫県立がんセンター	
	安藤 俊弘	神戸市立西神戸医療センター	
	西本 哲郎	神戸市立中央医療センター	
	関口 典子	兵庫県立こども病院	
プログラム	<p>13:30-13:50 レビュー事前ミーティング</p> <p>14:00-14:15 I.導入 参加者自己紹介スケジュール概要とレビュー方法について情報共有</p> <p>14:15-14:45 II.ヒアリング 困りごとの内容に応じて、一般看護師や一般診療医、緩和ケアチームメンバーへのヒアリング</p> <p>14:55-15:25 III.レビュー会議 レビューの意見集約</p> <p>15:30-16:00 IV.まとめ 緩和ケアチームメンバーとレビューで総括</p> <p>16:00-16:30 V. レビュー方法の振り返り</p>		
オブザーバー	坂下 明大	兵庫県立はりま姫路医療センター	
	池島 典之	兵庫県立こども病院	
	永田 真知子	兵庫県立がんセンター	

症状緩和のための専門的治療一覧について

がんの様々な苦痛症状緩和のための専門的治療として、以下のようなものが行われています。

- ◆ がんの痛みを緩和するために、鎮痛薬だけでなく 神経ブロック・緩和的放射線治療・IVR(Interventional Radiology:画像下治療) という治療方法があります。
- ◆ 腹部の痛みに対する 腹腔神経叢ブロックや会陰部痛に対する くも膜下フェノールブロック
- ◆ その他の悪性腫瘍に伴う疼痛で 神経ブロックが実施可能なもの
- ◆ 痛みを伴う骨転移にたいして、放射線治療、骨セメント注入や ラジオ波凝固療法・凍結療法
- ◆ 食道からのチューブ留置(PTEG)による、経口摂取が難しい場合の栄養補給や、腸閉塞の場合の減圧による腹満感の改善
- ◆ 難治性の腹水貯留による苦痛に対し、デンバーシャント留置
- ◆ 腫瘍からの止血困難な出血に対し、放射線治療や 動脈塞栓術
- ◆ 血管閉塞や気道・消化管閉塞に対する ステント留置や 放射線治療

これらの治療により、負担の少ない有効な症状緩和ができる可能性があります。設備や専門的技術をもつ治療医が必要であり、すべての医療施設で行うことはできません。

そこで、これらの治療に関して地域連携をはかることで、どこに住まれていても質の高い緩和ケアが提供できるよう、緩和ケア部会ワーキンググループが兵庫県のがん診療連携拠点病院に現状調査を行い、同意を得て実施可能な治療と連携の可否につき公表することといたしました。



[概要](#)



[神経ブロック療法](#)



[緩和的放射線治療](#)



[緩和 IVR](#)

※ 上記の一覧表は 2026 年 3 月 31 日現在の内容です

[→ トップページ](#)

[→ 兵庫県がん診療連携協議会について](#)

[→ 県内のがん診療連携拠点病院等](#)

◆ 概要

◎、✕をクリックすると各施設の詳細情報が表示されます

2026.3.31 現在

医療圏	施設名	公開	神経ブロック療法	緩和的放射線治療	緩和IVR
神戸	神戸大学医学部附属病院	○	◎	○	◎
	神戸市立医療センター中央市民病院	○	✕	◎	◎
	神戸市立西神戸医療センター	○	◎	◎	◎
	神鋼記念病院	○	✕	○	○
	県立こども病院	○	✕	○	✕
	神戸医療センター	○	✕	◎	✕
	神戸中央病院	○	✕	✕	○
	川崎病院	—			
	神戸市立医療センター西市民病院	○	✕	✕	✕
	神戸海星病院	—			
	神戸労災病院	○	✕	✕	✕
	済生会兵庫県病院	○	○	✕	○
	新須磨病院	○	✕	✕	✕
	神戸赤十字病院	○	✕	✕	✕
	甲南医療センター	○	○	✕	◎
	神戸低侵襲がん医療センター	○	✕	◎	◎
阪神南	関西労災病院	○	✕	◎	✕
	兵庫医科大学病院	○	◎	◎	◎
	県立尼崎総合医療センター	○	◎	◎	◎
	県立西宮病院	○	✕	○	○
	明和病院	○	○	○	○
	市立芦屋病院	○	○	✕	○
	西宮市立中央病院	○	◎	◎	✕
阪神北	近畿中央病院	○	✕	◎	✕
	市立伊丹病院	○	✕	○	○
	宝塚市立病院	○	○	○	○
	三田市民病院	○	○	○	✕
	川西市立総合医療センター	○	✕	✕	✕
	兵庫中央病院	○	✕	✕	✕
東播磨	県立がんセンター	○	◎	◎	✕
	加古川中央市民病院	○	✕	◎	◎
	県立加古川医療センター	○	○	◎	◎
	明石医療センター	○	✕	✕	○
	明石市立市民病院	○	✕	✕	✕
	高砂市民病院	○	✕	✕	✕
北播磨	北播磨総合医療センター	○	○	◎	◎
	市立加西病院	○	✕	✕	✕
	西脇市立西脇病院	○	◎	◎	✕
中播磨	姫路赤十字病院	○	◎	◎	◎
	姫路医療センター	○	✕	◎	✕
	県立はりま姫路総合医療センター	○	○	○	○
	姫路中央病院	○	○	✕	✕
	姫路聖マリア病院	○	✕	✕	✕
	ツカザキ病院	○	○	✕	✕
西播磨	赤穂市民病院	○	○	○	✕
但馬	公立豊岡病院	○	○	✕	✕
	公立八鹿病院	○	✕	○	○
丹波	県立丹波医療センター	○	◎	◎	✕
淡路	県立淡路医療センター	○	✕	○	○

◆ 神経ブロック療法

2026.3.31 現在

医療圏	施設名	施行の有無	可能な神経ブロック(神経破壊薬)	可能な神経ブロック(局所麻酔薬)	患者紹介/窓口
神戸	神戸大学医学部附属病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 三叉神経節、三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 麻酔科ペインクリニック
	神戸市立医療センター中央市民病院	×			
	神戸市立西神戸医療センター	○	腹腔神経叢ブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 緩和ケア内科
	神鋼記念病院	×			
	県立こども病院	×			
	神戸医療センター	×			
	神戸中央病院	×			
	川崎病院	—			
	神戸市立医療センター西市民病院	×			
	神戸海星病院	—			
	神戸労災病院	×			
	済生会兵庫県病院	○		持続硬膜外ブロック 三叉神経(上顎神経、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 総合支援センター経由 麻酔科
	新須磨病院	×			
	神戸赤十字病院	×			
	甲南医療センター	○	腹腔神経叢ブロック	トリガーポイントブロック	不可/院内紹介のみ
神戸低侵襲がん医療センター	×				

医療圏	施設名	施行の有無	可能な神経ブロック(神経破壊薬)	可能な神経ブロック(局所麻酔薬)	患者紹介/窓口
阪神南	関西労災病院	×			
	兵庫医科大学病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経節、三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ ペインクリニック外来
	県立尼崎総合医療センター	○		肋間神経ブロック 神経根ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	県立西宮病院	×			
	明和病院	○		交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	市立芦屋病院	○	腹腔神経叢ブロック	硬膜外ブロック	可能/ ペインクリニック外来
	西宮市立中央病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経節、三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 麻酔科
阪神北	近畿中央病院	×			
	市立伊丹病院	×			
	宝塚市立病院	○		交感神経節ブロック	不可/院内紹介のみ
	三田市民病院	○		神経根ブロック 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 麻酔科
	川西市立総合医療センター	×			
	兵庫中央病院	×			

医療圏	施設名	施行の有無	可能な神経ブロック(神経破壊薬)	可能な神経ブロック(局所麻酔薬)	患者紹介/窓口
東播磨	県立がんセンター	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経節、三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 麻酔科外来
	加古川中央市民病院	×			
	県立加古川医療センター	○		神経根ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 放射線科(治療)
	明石医療センター	×			
	明石立市民病院	×			
	高砂市民病院	×			
北播磨	北播磨総合医療センター	○	×	持続硬膜外ブロック 肋間神経ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	市立加西病院	×			
	西脇市立西脇病院	○	腹腔神経叢ブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経(上顎神経、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
中播磨	姫路赤十字病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ ペインクリニック外来
	姫路医療センター	×			

医療圏	施設名	施行の有無	可能な神経ブロック(神経破壊薬)	可能な神経ブロック(局所麻酔薬)	患者紹介/窓口
中播磨	県立はりま姫路総合医療センター	○	腹腔神経叢ブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 肋間神経ブロック 神経根ブロック 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	姫路中央病院	○		持続硬膜外ブロック	不可/院内紹介のみ
	姫路聖マリア病院	×			
	ツカザキ病院	○		持続硬膜外ブロック	不可/院内紹介のみ
西播磨	赤穂市民病院	○		肋間神経ブロック 神経根ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
但馬	公立豊岡病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	公立八鹿病院	×			
丹波	県立丹波医療センター	○		持続硬膜外ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
淡路	県立淡路医療センター	×			

◆ 緩和的放射線治療

2026.3.31 現在

医療圏	施設名	施行の有無	ゾーフィゴ療法	紹介患者受け入れ	緩和的放射線治療の窓口
神戸	神戸大学医学部附属病院	○	○	可能	放射線腫瘍科
	神戸市立医療センター中央市民病院	○	○	可能	患者総合支援センター
	神戸市立西神戸医療センター	○	○	可能	放射線治療科
	神鋼記念病院	○	○	可能	原発巣診療科に紹介
	県立こども病院	○	×	可能	血液腫瘍科 地域医療連携部
	神戸医療センター	○	×	可能	放射線科・放射線治療外来
	神戸中央病院	×			
	川崎病院	—			
	神戸市立医療センター西市民病院	×			
	神戸海星病院	—			
	神戸労災病院	×			
	済生会兵庫県病院	×			
	新須磨病院	×			
	神戸赤十字病院	×			
	甲南医療センター	×			
	神戸低侵襲がん医療センター	○	×	可能	地域医療連携室
阪神南	関西労災病院	○	×	可能	該当する各診療科
	兵庫医科大学病院	○	○	可能	放射線科
	県立尼崎総合医療センター	○	○	可能	総合相談窓口(地域医療担当)経由で放射線治療科
	県立西宮病院	○	×	不可(院内のみ)	2024年12月で一時休止。再開予定(2026年)
	明和病院	○	○	可能	キャンサークリニック
	市立芦屋病院	×			
	西宮市立中央病院	○	×	不可(院内のみ)	
阪神北	近畿中央病院	○	×	可能	地域医療福祉センター内地域医療室
	市立伊丹病院	○	×	可能	地域医療連携室
	宝塚市立病院	○	×	可能	地域連携室
	三田市民病院	○	○	可能	放射線科
	川西市立総合医療センター	×			
	兵庫中央病院	×			
東播磨	県立がんセンター	○	○	可能	地域連携室を介して放射線治療科外来受診
	加古川中央市民病院	○	○	可能	放射線治療科
	県立加古川医療センター	○	○	可能	放射線科(治療)外来
	明石医療センター	×			
	明石立市民病院	×			
	高砂市民病院	×			
北播磨	北播磨総合医療センター	○	○	可能	地域医療連携室
	市立加西病院	×			
	西脇市立西脇病院	○	×	可能	患者総合支援センター医療連携課
中播磨	姫路赤十字病院	○	○	可能	疾患科(適応であれば疾患科より放射線科に紹介)
	姫路医療センター	○	○	可能	地域医療連携室
	県立はりま姫路総合医療センター	○	×	可能	放射線治療科
	姫路中央病院	×			
	姫路聖マリア病院	×			
	ツカザキ病院	×			
西播磨	赤穂市民病院	○	○	可能	放射線科
但馬	公立豊岡病院	×			
	公立八鹿病院	○	○	可能	放射線科
丹波	県立丹波医療センター	○	×	可能	緩和ケア外来、がん治療支援外来
淡路	県立淡路医療センター	○	○	可能	放射線科

◆ 緩和IVR

2026.3.31 現在

医療圏	施設名	施行の有無	施行可能な緩和IVR	紹介患者受け入れ	緩和IVRの窓口
神戸	神戸大学医学部附属病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線科・IVR科
	神戸市立医療センター中央市民病院	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	患者総合支援センター ※ 放射線診断科は外来がないため、 原疾患の診療科へご紹介ください
	神戸市立西神戸医療センター	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	呼吸器内科 消化器内科 消化器外科
	神鋼記念病院	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設	不可(院内のみ)	
	県立こども病院	×			
	神戸医療センター	×			
	神戸中央病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	
	川崎病院	—			
	神戸市立医療センター西市民病院	×			
	神戸海星病院	—			
	神戸労災病院	×			
	済生会兵庫県病院	○	PTEG造設	可能	総合支援センター経由で消化器内科
新須磨病院	×				
神戸赤十字病院	×				

医療圏	施設名	施行の有無	施行可能な緩和IVR	紹介患者受け入れ	緩和IVRの窓口
神戸	甲南医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線科
	神戸低侵襲がん医療センター	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント	可能	地域医療連携室
阪神南	関西労災病院	×			
	兵庫医科大学病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線科
	県立尼崎総合医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能 (骨セメントのみ)	経皮的椎体形成術(骨セメント)は整形外科
	県立西宮病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) PTEG造設	可能 (骨セメントのみ)	経皮的椎体形成術(骨セメント)は整形外科
	明和病院	○	除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	がんセンタークリニック
	市立芦屋病院	○	PTEG造設	可能	外科
	西宮市立中央病院	×			
	阪神北	近畿中央病院	×		
市立伊丹病院		○	気道狭窄に対する気管・気管支ステント	可能	
宝塚市立病院		○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント	可能	地域医療室
三田市民病院		×			
川西市立総合医療センター		×			
兵庫中央病院		×			

医療圏	施設名	施行の有無	施行可能な緩和IVR	紹介患者受け入れ	緩和IVRの窓口
東播磨	県立がんセンター	×			
	加古川中央市民病院	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線治療科
	県立加古川医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線科(治療)外来
	明石医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	不可(院内のみ)	
	明石立市民病院	×			
	高砂市民病院	×			
北播磨	北播磨総合医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線診断科 (デンバーシャント造設のみ外科)
	市立加西病院	×			
	西脇市立西脇病院	×			
中播磨	姫路赤十字病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント	可能 (静脈ステントは 院内紹介のみ)	経皮的椎体形成術は整形外科 気管・気管支ステントは呼吸器センター
	姫路医療センター	×			
	県立はりま姫路総合医療センター	○	気道狭窄に対する気管・気管支ステント 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント PTEG造設	可能	気管・気管支ステント(窓口:呼吸器内科) 静脈ステント(窓口:IVR科) PTEG(窓口:消化器内科)
	姫路中央病院	×			
	姫路聖マリア病院	×			
	ツカザキ病院	×			

医療圏	施設名	施行の有無	施行可能な緩和IVR	紹介患者受け入れ	緩和IVRの窓口
西播磨	赤穂市民病院	×			
但馬	公立豊岡病院	×			
	公立八鹿病院	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	
丹波	県立丹波医療センター	×			
淡路	県立淡路医療センター	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設	可能	放射線科

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項 目	内 容
令和7年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんパスの使用状況につき検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年3月末時点におけるアンケート調査を行った。令和6年度の登録件数は1,729件となり、前年度の登録件数から244件増加、累計16,068件となった。 ・ 累計の内訳は、乳がん 7,911件、胃がん 3,107件、大腸がん 2,302件、肺がん 1,506件、肝臓がん 121件、前立腺がん 1,068件、子宮体がん 53件。 ○ 各がんの地域連携パスを見直し、修正を進めた。 ○ がん診療における地域連携の現況について、令和7年3月末時点におけるアンケート調査を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Webによる退院前カンファレンスについては、49施設中22施設が実施し、令和6年度の実施件数は、集計不可等の回答施設を除き、291件であった。前年度と比較すると、実施施設は1施設増、実施件数は194件減となった。 ・ 遠隔診療については、49施設中2施設が実施、令和6年度の実施件数は84件。前年度より継続している施設は1施設であり、実施件数は80件減少した。 ・ がんゲノム診療については、49施設中43施設から回答を得られ、がん遺伝子パネル検査を実施した、もしくは実施している施設に患者を紹介した施設は25施設であった。治療につながった症例数については、25施設中20施設から回答を得られ、その率については、平均14%であった。
令和8年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんパスの各施設での導入・使用状況を各部会ごとに検討する。 ○ がん地域連携パスの運用上の問題点を抽出改訂し活用を図る。 ○ がん地域連携に関する問題点を抽出し対応を検討する。

《 令和 7年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和 8年 3月末 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容 (計画)
地 域 連 携 部 会	バス利用の施設間 格差の改善	バス利用に施設間格差あり バス利用の臓器間格差あり 利用上の課題がある	バス利用のアンケート調査施行 全ての施設でのバス利用を推進する 課題の抽出と改善	令和8年 3月	○	達成	地域連携バスの利用状況につきアンケートを行った バス利用には臓器格差があった。	継続	アンケートを行い地域連携バス利用をは図る
	バスの課題の抽出・ 改訂・活用	バスの課題の抽出と改訂の継続が必要である 臨床研究への展開は少ない	課題を抽出しつつ、改訂可能なものは改訂を進める バスの臨床研究への展開と活用	令和8年 3月	○	達成	バスに関して各臓器別WGで検討し改変が必要な場合は改変を行った バス利用状況について一部を学会で発表した	継続	アンケートを行い、バスの改変が必要な場合はタイムリーに改変する データの臨床研究への利活用を促進する
	がん地域連携の 課題の共有と改善	がん地域連携の課題の抽出/共有/ 改善が十分できていない	アンケートなどで課題を抽出共有し、 可能なものは改善につなげる	令和8年 3月	○	達成	がんゲノム診療は必要に応じて行われ、 治療に結び付く割合は 1 0 %を優位に超えていた 遠隔診療やWEBカンファレンスはコロナの5類化とともに件数が減少した	継続	アンケートを行い、がん地域連携の課題を抽出し共有し課題の解決を図る

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 令和 8 年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和 8 年 4 月 1 日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容 (計画)
地 域 連 携 部 会	バス利用の施設間 格差の改善	バス利用に施設間格差あり バス利用の臓器間格差あり 利用上の課題がある	バス利用のアンケート調査施行 全ての施設でのバス利用を推進する 課題の抽出と改善	令和9年 3月					
	バスの課題の抽出・ 改訂・活用	バスの課題の抽出と改訂の継続が 必要である 臨床研究への展開は少ない	課題を抽出しつつ、改訂可能なものは 改訂を進める バスの臨床研究への展開と活用	令和9年 3月					
	がん地域連携の 課題の共有と改善	がん地域連携の課題の抽出/共有/ 改善が十分できていない	アンケートなどで課題を抽出共有し、 可能なものは改善につなげる	令和9年 3月					

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。